

第 38 回 全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)

38th All Japan Dance Festival -Kobe

創作コンクール部門・参加発表部門

大会開催要項



大会開催要項は熟読して下さい。

その他の詳細な連絡は大会ホームページ上に掲載しますので、頻繁に閲覧するようにして下さい。

各都道府県・指定都市教育委員会教育長 様
各高等学校長・大学長 様
各校体育担当者・ダンス担当者 様

全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）
実行委員会 会長
公益社団法人 日本女子体育連盟会長
細川 江利子

第 38 回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）ご案内

今般、公益社団法人日本女子体育連盟・神戸市・神戸市教育委員会主催のもと、「第 38 回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）」を開催するはこびとなりました。

ここに参加申込についてのご案内をさしあげ、貴校・貴学のご参加を心よりお待ちしております。

主 催	公益社団法人 日本女子体育連盟・神戸市・神戸市教育委員会
主 管	全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）実行委員会
後 援（予定）	スポーツ庁・(公財)日本スポーツ協会・NHK・(公財)全国高等学校体育連盟 全国高等学校長協会・兵庫県・兵庫県教育委員会 (公財)神戸市スポーツ協会・(公財)ミズノスポーツ振興財団
協 賛（予定）	フォトスタジオ八木・ミズノ株式会社（五十音順） 他
開 催 期 日	8月4日（火）、5日（水）6日（木）、7日（金）
開 催 内 容	開会式 創作コンクール部門（高校：予選・決選）（大学：予選・決選） 参加発表部門 表彰式・特別プログラム（創作コンクール部門の受賞作品上演）
開 催 地	神戸市・神戸文化ホール 神戸市中央区楠町4丁目2-2
公式ホームページ	https://www.ajdf.jp
大会事務局	全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）実行委員会事務局 （神戸市文化スポーツ局スポーツ企画課内） edu-ajdf@city.kobe.lg.jp

— 目 次 —

第 38 回大会における主な変更点	p 1
Ⅰ 開催日程	p 2
Ⅱ 手続き等一覧	p 3
Ⅲ 開催要項	p 5
Ⅳ 参加要項	
1. 参加資格	p 8
2. 部門及び内容	p 8
3. 参加のための手続き	
(1) 参加申込	p 9
(2) プログラム原稿等の提出、参加人数登録、大会プログラム追加代金（希望者のみ）	p 9
(3) 参加料等の入金について	p11
(4) A・B用紙・CD（「音響（選曲や自作音など）の工夫」・「舞台美術（自作の衣装・小道具）の工夫」）の提出	p12
4. 規定事項	
(1) 著作物の引用について	p13
(2) 伴奏音楽	p14
(3) 舞台・きっかけ出し係・作品の始め方	p14
(4) 小道具・衣装	p16
(5) 照明	p18
(6) 大会期間中の上演に関わる進行	p18
(7) 上演中のトラブル	p23
(8) 注意事項	p23
(9) 作品発表に関する問い合わせ先	p23
(10) 参加辞退、出演する部門の変更について	p23
5. 違反について	p24
Ⅴ 大会期間中の手続き・注意事項	
1. 受付	p25
2. 会場	p25
3. 式典	p28
4. 大会マナー	p29
5. 肖像権、写真・映像の使用について	p30
Ⅵ その他の申し込み	
1. 広告協賛	p31
2. 『女子体育』の販売と作品映像について	p31
3. 写真撮影申し込み	p32
4. 各種鑑賞チケットについて	p33
Ⅶ 諸連絡	p37
【資料】 B用紙 記入上の注意事項・記入例	p38
よくある間違いの事例	p44
違反の例	p46
37 th 大会提出物不備と違反の事例	p47
全体のスケジュール	p48

【第 38 回大会における主な変更点】

昨年度と異なる主な点を示します。詳細は7月上旬までに大会ホームページ上で公表します。ご理解の程、よろしくお願い致します。

変更点	第 37 回	第 38 回	掲載ページ
開会式	2 日目	1 日目	p2, p28
高校コンクール予選	1 日目・2 日目	2 日目のみ	p2
使用曲目申請費	1 作品あたり 3,000 円	1 作品あたり 5,000 円	p5, p11
参加発表部門出場人数	5 名以上、40 名以内	2 名以上、40 名以内	p8
参加発表部門出場チーム	1 校につき 1 作品	1 校につき 2 作品まで エントリー可能 (参加発表部門内でのメンバー重複は不可)	p9
参加発表部門作品時間	舞台への出入りの時間を含めて 3 分 30 秒以内	舞台への出入りの時間を含めないで 3 分 15 秒以内	p8
予選結果発表	開会式・HP・Instagram にて発表	HP・Instagram にて発表	p3, p6
音楽著作権	AB 用紙提出後に許諾が来るケースがあった	6/16 締切の AB 用紙提出時には必ず許諾が完了していること	p11, p13, p37
鑑賞チケット	(1) 創作コンクール部門 高校予選チケット (学割チケットも同様) (2) 参加発表部門	高校コン・参加発表部門は通し券ではなく、出場校数ごとに分けた「ブロック券」で販売	p33

なお、自然災害の発生、予期することのできない異常な事態の発生等様々な状況により急遽大会内容を変更する可能性があります。大会ホームページの更新を定期的にご確認ください！

※使用曲目申請費については、著作権隣接権の権利処理に係る費用高騰から、大変申し訳ございませんが、高騰分の値上げをさせていただいております。

第 38 回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）

I 開催日程

○事前説明会		5月30日（土）	オンライン（任意参加）
○顧問会議		7月31日（金）	オンライン
○創作コンクール部門・打合等	<大ホール>		
予選上演打合	高校	8月4日（火）	高校①10：00～12：30 高校②18：15～18：40
	大学	8月4日（火）	10：30～12：00
決選上演打合	高校	8月6日（木）	9：10～9：50
	大学	8月6日（木）	9：20～10：15
割り当て練習	<体育館>		
		8月4日（火）	9：30～15：30（予定）
	場当たり	8月4日（火）	高校 13：30～15：30 大学 13：30～14：40
○開会式	<体育館>		
		8月4日（火）	17：30～18：15
○創作コンクール部門・予選		有料公開	全席指定
高校の部	<大ホール>		
		8月5日（水）	9：30～18：30（予定）
大学の部	<中ホール>		
		8月5日（水）	10：00～14：30（予定）
○創作コンクール部門・決選		有料公開	全席指定
高校の部	<大ホール>		
		8月6日（木）	10：30～14：45
大学の部	<大ホール>		
		8月6日（木）	16：30～18：30
○参加発表部門<中ホール>			
	参加上演打合	8月5日（水）	両部門参加校 15：00～17：00
		8月6日（木）	参加発表部門のみ参加校 9：20～10：10
	照明下見	8月6日（木）	11：30～17：20（予定）
○参加発表部門・本番		有料公開	全席自由
	<中ホール>		
		8月7日（金）	9：45～13：20（予定）
○表彰式・特別プログラム		8月7日（金）	有料公開 全席指定
	<大ホール>		
	1回目公演		14：45～17：40（表彰式含む）
	2回目公演		18：30～20：55

Ⅱ 第 38 回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸） 手続き等一覧

ホームページ 公開内容	時期	内 容
	3 月初旬	第 38 回大会公式ホームページ（大会開催要項）
	5 月下旬	参加校及び上演順
	7 月中旬	上演打合・出演時間予定表
	8/5（水）	予選結果
	8/6（木）	決選結果

		期間	内 容	備 考
ホームページより 【Web申込】	学校 申込	4/1（水）0：00～ 4/17（金）23：59 まで	参加申込 ・創作コンクール部門 ・参加発表部門	・参加人数調査（予定人数で 構わない） ※
		6/1（月）10：00～ 6/16（火）17：00 まで	プログラム原稿 使用曲目報告書	・プログラム原稿は、A 用紙 と同じ内容であること ・プログラム原稿提出後は 参加者の変更は不可
			参加人数登録	
			大会プログラム追加代金	
			学割席チケット申し込み	
	開会式参加人数登録			
	6/26（金）～ 7/8（水）15：00 まで	参加料等の支払い （・グループ登録料 ・顧問登録料 ・個人参加料 ・入場証発行費 ・使用曲目申請費 ・体育館入館証発行費 ・大会プログラム追加代金 ・学割席チケット代金）	銀行振込、コンビニ決済（※ 学校申込はクレジット決済 不可）	
一般	4/1（水）0：00～ 6/24（水）17：00 まで	広告協賛（文字広告・写真広 告）申込	銀行振込	
	後日ホームページにてお知らせ	各種鑑賞チケット申込 （6/1（月）～を予定）	コンビニ決済、クレジット 決済	


※ 大会参加申込後に「受付確認メール」が配信されますが、この時点で申し込みが完了したわけではありません。「受付確認メール」の内容を必ずご確認ください。

	期間	内 容	部数・サイズ	送付先	備 考
【郵送】	6/1 (月) ~ 6/16 (火) *消印有効	A用紙 (A-1・A-2)	各 15 部・A4	AJDF 東京分室 (p.12 参 照)	・プログラム原稿と同じであること(参加発表部門はA-1のみ)
		B用紙	15 部・B4		・A4をB4サイズに拡大コピーして使用すること
		CD	3 枚		・本番用音楽(返却しない)
		音響、舞台美術の工夫の調査 (創作コンクール部門で該当する場合のみ)	1 部・A4		
		著作権利用許諾 証明書(該当校のみ)	1 部		・郵送ではなくPDFで提出する場合には、東京分室宛にメールで送付すること

その他の申し込み日程

機関誌『女子体育』 (AJDF 報告特集号) 申込	大会期間中 ～ 9/24 (木)	(公社) 日本女子体育連盟
舞台写真撮影申込	4/1 (水) ~ 7/31 (金)	フォトスタジオ八木

出演者変更届

<p>出演者変更届 (大会ホームページ参照) A用紙提出後にやむを得ず変更があった場合に提出</p> <p>AJDF 東京分室問い合わせフォーム </p>	<p>AJDF 東京分室問い合わせフォームにて送付</p> <p>7月31日以降の変更は、出演者変更届を東京分室問い合わせフォームにて送付。 <u>さらに大会会場の受付に原本を提出すること。</u></p>
--	--

顧問又は指導者の変更について

<p>参加申込後に顧問又は指導者の変更があった場合に提出</p> <p>大会事務局メールアドレス edu-ajdf@city.kobe.lg.jp</p>	<p>大会事務局メールアドレスに送付</p> <p>変更後の顧問又は指導者の「①氏名」「②緊急連絡先(電話番号及びメールアドレス)」を記載して送付。</p>
---	--

Ⅲ 開催要項

1. 趣 旨

ダンスは、人間の心身を投じての自己開発として、自我意識にめざめ美的運動欲求の高まる青年期にはとりわけ重要な意義をもつものである。わが国においては、近年急速に各種のダンス体験を求め人々が増加し、ダンスによる交流にも目覚ましい変化が現れつつある。その先駆けとして昭和63年から開催されている本ダンスフェスティバルは、年ごとに大きな喜びをもって迎えられ成果をあげている。

スポーツの種目ごとに見られる振興活動に比較し、ダンスの全国レベルの交流は発展の途上であり、特に高校・大学においては、さらなる充実が求められるところである。そこでわが国の高校・大学におけるダンス教育の一層の発展を期して、一人ひとりの若い力を燃え立たせる機会となるよう祈念して本大会を開催するものである。

2. 内 容

- (1) **創作コンクール部門** : 生徒・学生によるオリジナル創作作品とする。
生徒・学生以外による創作作品は認めない。
- (2) **参加発表部門** : 創作ダンスの他にも、ダンスの種類を問わず上演できる。

3. 参加登録費等

① グループ登録料	1部門あたり	12,000円
② 個人参加料・顧問登録料	一部門のみの参加者(きっかけだし係を含む) 1名分	2,000円
	両部門への参加者(きっかけだし係を含む) 1名分	3,000円
③ 入場証発行費	②の1名につき	1,000円
④ 使用曲目申請費	1作品あたり	5,000円
⑤ 体育館入館証発行費	②以外の部員で体育館(開会式・割り当て練習・ウォームアップエリア)に入館する者1名につき	1,000円

※④に関しては発生しない場合もある。p.11「使用曲目申請費について」を読み、判断すること。

〈使用曲目申請費に関して〉

日本レコード協会の使用料規程に、ダンス大会参加者が行うレコード複製等に関する規定が新設され、参加者が支払う使用料(1曲あたり、邦楽:5,000円、洋楽:50,000円)が定められました。

これを受けて、本大会では大会実行委員会が日本レコード協会と包括契約を行い、一括して日本レコード協会に申請・支払いすることで、参加校の皆様の支払い手続きや料金の負担を軽減する対応を取ることになりました。その一括使用料を支払うために、第38回大会より「使用曲目申請費」を2,000円引き上げさせていただきます。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※⑤について、②以外の「部員」に中学生を含めることはできない。また、休憩の為に観覧席を利用する場合にも必要である。

4. 審査と表彰・講評

(1) 創作コンクール部門

- ① 創作コンクール部門は、予選審査を経て決選審査を行う。
- ② 審査員は、次の専門分野から構成する。

スポーツ庁	舞踊学	体育学・教育学	舞踊家
舞踊評論家	関連芸術領域専門家	神戸市	

- ③ 予選、決選とも、審査員は自身が指導するグループの作品については、点数をつけない。
- ④ 予選審査は、高校・大学それぞれ6名で行う。審査員それぞれが10点満点で採点し、全作品の採点終了後、その審査員の評価点の平均値と標準偏差*をもとに、作品ごとの偏差値**を算出する。6名分の偏差値の合計をその作品の得点とし、得点の上位から予選通過グループとする。

* 標準偏差=採点の散らばり具合を算出した数値で、ばらつきが大きいほど大きな値になる。

**偏差値=10×((その審査員が与えた作品Aへの評価点 - その審査員の平均点)+標準偏差)+50

- ⑤ 予選結果については、予選通過グループの予選番号一覧と予選通過の得点（学校名は非公開）を大会ホームページおよび大会公式Instagramアカウントにおいて公表する。
- ⑥ 決選審査は12名で行う。それぞれが「創作作品の完成度の高さ」という観点で、100点満点で採点する。最高点及び最低点を(複数人数が同点をつけている場合にはそれぞれ1名分ずつ)除き、残る10名の合計点を総得点とする。但し、このようにして算出した総得点の等しい作品があった場合には、最高点と最低点を加えた得点で比較して判断する。総得点が第1位となった作品に対して【文部科学大臣賞】が与えられる。
- ⑦ 決選審査員はそれぞれ80点以上と評価した作品について【三賞】【特別賞】の各観点でも評価する。観点ごとに適とされた数を集計し、総得点順位8位以内の作品から【三賞】、16位以内の作品から【特別賞】の各賞を決定する。適とされた数が同数の場合は、総得点の高い作品にその賞が与えられる。
- ⑧ 総得点が16位以内であって【文部科学大臣賞】【三賞】【特別賞】の各賞に該当しなかった作品のうち、総得点が高い作品に対して【奨励賞】【審査員賞】が、高校の部のみ【準入賞】が与えられる。

⑨ 各賞と評価の観点

a. 【文部科学大臣賞】

「創作作品の完成度の高さ」の評価において、総得点が第1位となった作品に対して

b. 【三賞】(総得点が8位以内の作品の中から)

NHK賞	主題のすぐれた展開・構成に対して
日本女子体育連盟会長賞	生き生きした生命力あふれる表現に対して
神戸市長賞	新境地を切り開く独創的な発想の探究に対して

c. 【特別賞】(総得点が16位以内の作品の中から)

特別賞	主題にふさわしい斬新な動きの発見に対して
特別賞	感性にあふれたすぐれた動きのテクニックに対して
特別賞	クロスカルチャーへの新しい挑戦に対して
特別賞	主題にふさわしい演出効果(音楽、衣装、小道具など)の工夫に対して(申告制)

d. 【奨励賞】【審査員賞】（総得点が16位以内の作品の中から）

奨励賞	a～cでの受賞に該当しなかった作品のうち、総得点が最も高い作品に対して
審査員賞	a～cでの受賞に該当しなかった作品のうち、総得点が高い作品に対して（受賞数は参加校数に応じて決定する）

e. 【準入賞】（総得点が16位以内の作品に対して）

準入賞（高校の部のみ）	審査員賞に次ぐ得点で上位16位までの作品に対して （表彰状の授与は行うが、特別プログラムでの上演は行わない）
-------------	---

*参加要項に記載されている規定に違反した場合、参加取り消しや審査対象外、減点対象となることがある。

(2) **参加発表部門**

作品上演直後に、コメンテーターによる講評を行う。

(3) **創作コンクールおよび参加発表部門の作品の講評**

(公社)日本女子体育連盟発行の『女子体育』（第38回AJDF報告特集号）に全作品の講評および写真を掲載する。

IV 参加要項

1. 参加資格

- ① 国公立・私立高等学校、大学、短大、およびこれに準ずると主催者が認める学校に在籍する生徒・学生で組織されたグループで、校長・学長もしくはそれに準ずる者が参加を認めていること。
- ② グループは、同じ学校に在籍する生徒・学生で組織されていること。

2. 部門及び内容

(1) 創作コンクール部門

- ① 内容：生徒・学生によるオリジナル創作作品とする。生徒・学生以外による創作作品は認めない。
- ② 人数：5名以上30名以内の群舞作品とする。
出演者以外の人員が関与することは認めない。きっかけ出し係は、1作品につき1名（出演者、出演者ではない生徒・学生、指導者のいずれかで、入場証を有する者。高校は原則として指導者）とし、作品の開始時に舞台下手袖に待機するものとする。
- ③ 時間：照明の有無に関わらず、小道具の出し入れ時間、出演者の舞台への出入りの時間を含めて、高校3分～4分30秒、大学3分～6分以内とする。
※計時は、アナウンス終了時から出演者が舞台上からの退場を完了するまでとする。
※出演者の板付きは、アナウンス終了後に行う。
- ④ 作品における客席・花道の使用は認めない。
- ⑤ 創作コンクール部門への出品は1校1作品のみとする。同一作品を参加発表部門に出品することは認めない。
- ⑥ 予選ならびに決選順については、抽選により実行委員会が決定し、5月下旬に大会ホームページに掲載する。
- ⑦ 予選通過後の振付・小道具・衣装・出演人数等、作品に関わる変更は認めない。
- ⑧ 受賞作品は8月7日（金）の特別プログラム（2回公演）において上演する。
- ⑨ 高校の部の準入賞は特別プログラムでの上演は行わないが、表彰式で表彰状の授与を行う。表彰式に欠席の場合は、受賞校名の読み上げのみ行う。
- ⑩ 顧問会議は、7月31日（金）にオンラインで行う。高校は顧問、大学は顧問または代表者1名が必ず参加すること。録画の配信はしないので注意すること。詳細については、メールや大会ホームページで後日通知する。

(2) 参加発表部門

- ① 内容：創作ダンスに限らず多様な種類のダンスの上演を行う。
- ② 人数：2名以上40名以内の作品とする。
出演者以外の人員が関与することは認めない。きっかけ出し係は、1作品につき1名（出演者、出演者ではない生徒・学生、指導者のいずれかで、入場証を有する者。高校は原則として指導者）とし、作品の開始時に舞台下手袖に待機するものとする。
- ③ 時間：高校・大学ともに、照明の入れ方・消し方に関わらず、小道具の出し入れ時間、出演者の舞台への出入りの時間を含めず3分15秒以内とする。
※出演者の板付きは、アナウンス終了後に行う。

- ④ 作品における客席・花道の使用は認めない。
- ⑤ 参加発表部門への出品は1校**2作品まで**とする。同一作品を創作コンクール部門に出品することは認めない。(ただし同一部門内でのメンバーの重複は不可とする。)
- ⑥ 出演順は、抽選により実行委員会が決定し、5月下旬に大会ホームページに掲載する。
- ⑦ 参加発表部門の申込数が**50校**をこえた際は、抽選で出演校を決定する場合もある。(抽選は実行委員会が厳正に実施し、出演不可となった学校には、5月8日(金)までに連絡する。)
- ⑧ 顧問会議は、7月31日(金)にオンラインで行う。高校は顧問、大学は顧問または代表者1名が**必ず参加すること**。録画の配信はしないので注意すること。詳細については、メールや大会ホームページで後日通知する。

3. 参加のための手続き

参加には、以下の(1)～(4)の手続きが必要となる。申込または振込、書類の提出を期限内に不備のないように行うこと。

- (1) 参加申込【Web】
- (2) プログラム原稿等の提出、参加人数登録、(以下、希望の場合)大会プログラム追加代金【Web】
- (3) 参加料等(グループ登録料・顧問登録料・個人参加料・入場証発行費・使用曲目申請費、体育館入館証発行費、大会プログラム追加代金、学割チケット代金)の入金【Web&振込】
- (4) A用紙・B用紙・CD(・「音響(選曲や自作音など)の工夫」・「舞台美術(自作の衣装・小道具)の工夫)の提出【郵送】

(1) 参加申込

- ① 申込期間：4月1日(水)0:00～4月17日(金)23:59まで
- ② 申込方法：Web申込とする。大会ホームページより申込画面にアクセスし、必要項目を入力。
※期日が過ぎた場合の参加は認められないので、注意すること。また、記載事項の不備により、参加が認められない場合もある。
※参加人数はプログラム原稿提出(6月1日～16日)をもって確定とする。

(2) プログラム原稿等の提出、参加人数登録、(以下、希望の場合)大会プログラム追加代金

※知的財産権の保護のための「使用曲目報告書」は両部門とも必ず提出すること。

- ① 提出・登録(申込)期間：6月1日(月)10:00～6月16日(火)17:00まで
- ② 提出・登録(申込)方法：上記期間中に大会ホームページ上のプログラム原稿送信フォームにアクセスし、画面上の指示に従って送信する。

③ 注意事項

- ・プログラム原稿は、上演・審査のための資料としても使用するので、A用紙([A-1])と全く同じ内容であること。
- ・作品タイトルや内容に造り文字やイラスト、音読できない文字の使用は認めない。内容については、大会プログラムには1行で掲載されるので注意すること。
- ・Web申請を数回行った場合は、最後に送信されたデータが使用される。
- ・プログラム原稿提出後は、内容や参加者の変更はできない。プログラム原稿提出後に傷病等のやむを得ない理由で参加者を変更する場合は、出演者変更届(大会ホームページ参照)を東京分室問い合わせフォームへの送付すること。なお、7月31日以降の変更は、問い合わせフォームへの

送付に加えて、出演者変更届の原本をさらに大会会場の受付に提出すること。

AJDF 東京分室問い合わせフォーム



- ・参加申込後に顧問又は指導者の変更があった場合は、速やかに変更後の顧問又は指導者の「①氏名」「②緊急連絡先（電話番号及びメールアドレス）」を AJDF 大会事務局に送付すること。

大会事務局メールアドレス edu-ajdf@city.kobe.lg.jp

< 算出例 >

例 2部門3作品（創作コンクール部門、参加発表部門①、参加発表部門②）出場する場合			
○出演者			
創作コンクール（20人）、参加発表①（30人）、参加発表②（10人）のべ50人			
内訳 創作コンクールのみ出演：10人			
参加発表のみ出演：30人（①のみ27人、②のみ3人）			
両部門出演：10人（創作と参加①3人、創作と参加②7人）			
○顧問・指導者			
両部門の顧問（1人）と指導者（1人）			
○きっかけ出し係・体育館入場のみの者			
両部門きっかけ出し生徒（1人、創作と参加①）、1部門のみきっかけ出し生徒（1人、参加②のみ）、体育館入場者（4人）			
○ JASRAC 管理楽曲を創作コンクール・参加発表①②の3作品で使用			
費目	人数など	計算式	金額
グループ登録料	両部門	→ 2×@12,000円	24,000円
顧問登録料（指導者も含む）	両部門	→ 2×@3,000円	6,000円
個人参加料（出演者・きっかけ出し係 ※顧問、指導者、出演者以外の場合）	1部門	→ 40×@2,000円	115,000円
	両部門	→ 10×@3,000円	
	きっかけ出し係（両部門）	→ 1×@3,000円	
	きっかけ出し係（1部門）	→ 1×@2,000円	
入場証発行費 （顧問+指導者+出演者+きっかけ出し）	1+1+50+2	54×@1,000円	54,000円
体育館入場証発行費	4	4×@1,000円	4,000円
希望者のみ 大会プログラム追加代金	5冊	5×@1,200円	6,000円
該当の場合 使用曲目申請費 （※全ての作品で、JASRAC、NexTone、日本レコード協会管理楽曲を使用する場合）	創作コンクール部門、参加発表部門①②の3作品分	3×@5,000円	15,000円
合計			224,000円

※1 チケットの販売方法については、大会ホームページに掲載する。

※2 入場証や大会プログラムは両部門参加者であっても1人につき、1枚（冊）の配布となる。

※3 出演しないきっかけ出し係が、生徒・学生である場合についても、個人参加料等を入金すること。

※4 出演者以外で楽屋に出入りできるのは、指導者1人+きっかけ出し係（指導者可）1人までとし個人参加料を入金すること。

※5 指導者は、顧問が2名以上参加、顧問以外の外部指導者などが参加する場合に指導者として登録する。顧問と指導者が同一にならないように注意すること。

※6 入金後は、原則として返金できないので注意すること。

(3) 参加料等の入金について

① 入金期間 : 6月26日(金)～7月8日(水)15:00まで

② 入金方法

p.9「(2) プログラム原稿等の提出、参加人数登録、(以下、希望の場合) 大会プログラム追加代金」の受付終了後、各校の確定した参加料(グループ登録料・顧問登録料・個人参加料・入場証発行費・大会プログラム追加代金・使用曲目申請費・体育館入館証発行費・学割チケット代金)の金額を入金期間内に大会ホームページで確認の上、期日内に銀行振込またはコンビニ決済で支払う(学校申込はクレジット決済不可)。

◆使用曲目について

＜使用曲とは、作品中で使用する全ての曲が対象となる。使用曲数が複数である場合は、それぞれの曲について申請すること＞

・別紙資料(『音楽著作物の使用に関するお知らせ』)の申請方法に沿うこと(大会ホームページ掲載)。

- ・無音または自作曲を使用する場合も「使用曲目報告書」を提出すること。
- ・JASRAC、NexTone、日本レコード協会に管理されている楽曲は実行委員会から一括申請を行う。
- ・JASRAC、NexTone、日本レコード協会以外の団体で管理する楽曲は、各グループで事前に手続きを行うこと。
- ・権利者に直接確認する際は手続きに時間を要する場合もあるため、余裕を持って申請を行うこと。

※権利者に許諾を受けた上で「使用曲目報告書」を提出すること。

【使用曲目の申請方法に関する問い合わせ：JASRAC、NexTone、日本レコード協会 各ホームページ内より行うこと】

◆使用曲目申請費について

①JASRAC、NexTone、日本レコード協会が管理する楽曲を使用するグループ(両部門)

- ・実行委員会よりJASRAC、NexTone、日本レコード協会へ一括申請を行うが、各グループは使用曲目申請費として1作品あたり一律5,000円を支払うこと。JASRAC、NexTone、日本レコード協会が管理する楽曲かどうかは、別紙資料(『音楽著作物の使用に関するお知らせ』)を参照の上、確認すること。
- ・著作権が消滅している等、無料の楽曲を使用する場合は、使用曲目申請費の支払いの義務はない。(※作品で使用する曲全てが無料の場合のみであり、複数曲使用のうち、1曲でも対象楽曲があれば、使用曲目申請費を支払う。)

②JASRAC、NexTone、日本レコード協会以外が管理する音楽著作権のある楽曲のみを使用するグループ(両部門)

- ・各グループが楽曲の権利者に直接申請し、事前に所定の手続きおよび別途、著作物使用料の支払いを行うこと。このため、使用曲目申請費を支払う必要はない。

(4) A用紙・B用紙・CD (・「音響 (選曲や自作音など) の工夫」・「舞台美術 (自作の衣装・小道具) の工夫) の提出

各様式を大会ホームページから入手し、以下の注意と要領に従って作成、提出すること。

- ・各様式の書式等を勝手に変更しないこと。
- ・各様式の中には、基本シートへの入力内容が自動的に反映されるものがある。必ず基本シートから入力を開始すること。
- ・手書きによる記入が認められるのはB用紙のみ。

※創作コンクール部門参加作品は、該当する賞の審査を希望する学校のみ「音響 (選曲や自作音など) の工夫」・「舞台美術 (自作の衣装・小道具) の工夫」も作成し、提出する。

◆「音響 (選曲や自作音など) の工夫」・「舞台美術 (自作の衣装・小道具) の工夫」について

- ・主題にふさわしい選曲や自作音、自作の衣装・小道具の工夫は賞の対象となる。
- ・自作とは、出演者自身のみではなく、出演者が所属する高校・大学の在校生・在学生の作も含む。

① 提出期間： 6月1日 (月) ～ 6月16日 (火)

※提出物 (郵送) は 6月16日の消印まで有効とする。

② 提出方法

- ① 上記期間中に「A用紙 (創作コンクール部門は A-1 片面印刷 15部、A-2 片面印刷 15部 / 参加発表部門は、A-1のみ片面印刷 15部) ・B用紙 15部 (衣装に着色した原本を含める) ・CD 3枚 ・「音響 (選曲や自作音など) の工夫」・「舞台美術 (自作の衣装・小道具) の工夫」1部) を併せて、角型2号の封筒に入れて、以下③へ郵送する。
- ② 宅急便、メール便、料金後納郵便などの消印が確認できないものや、直接受取が必要なレターパックプラス (赤) や書留など (簡易書留、後払い郵送も含む) の郵送は不可とする。但し、レターパックライト (青) は可とする。

③ 郵送先及び問合せ先

(公社) 日本女子体育連盟 AJDF 東京分室 ダンスフェスティバル係
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 NYC 内

AJDF 東京分室問い合わせフォーム：



④ A用紙・B用紙 (15部)

A用紙：2種類 (A-1、A-2) とともに Web 申請したものと印刷物は全く同じであること。

※参加発表部門は A-1 のみ。

※A-1、A-2 はそれぞれ A4 サイズで 15部印刷し、両面印刷はしないこと。

また、それぞれを束ねて提出すること。

※タイトルには、顔文字や絵文字などを使用しないこと。

※作品解説には、学校名など上演校がわかる語句の記載、およびイメージを表現するための写真などの貼り付けをしないこと。

※学校名に加え、スペースを空けずにグループ名を必ず記入すること。

B用紙: 作品の進行のための資料、創作コンクール部門決選や参加発表部門における照明のための資料

※本要項巻末「B用紙 記入上の注意事項」を熟読すること。

※ホームページから様式を入手し、必要事項を入力（B用紙のみ手書き可）し、

B4サイズに拡大コピーして15部を提出すること。

※15部のうち1部は“衣装”に着色をした原本となるものであること。

※郵送する時は、15部を重ねて記入面を外側にし、2つに折って封筒に入れること。

⑤ CD (3枚)

いずれの部門においても、作品上演にあたっての伴奏音楽にはCDを使用するため、伴奏音楽の規定（次ページ参照）に従って録音されたCD3枚を以下①～③の要領で提出すること。

※提出されたCDは、2枚を当日の上演で使用し、1枚は照明家のデザインの参考として使用する。そのため、CDの梱包方法は「2枚収納」と「1枚収納」に分け、それぞれ写真のような「不織布ケース」(色は自由)で提出すること。なお、いずれも返却はしない。

① CDと不織布ケースには、次項の図で示した場所に、

出品部門/出演番号/作品タイトル/学校(グループ)名 を必ず明記すること。

② 不織布ケースのタイプは、写真のようにケース上部に整理のためのインデックスを貼れるスペースのあるものが望ましい。

③ プラスチックケースやその他の収納方法(厚紙で保護するなど)は不要。

* CDへの記入例



⑥ 「音響(選曲や自作音など)の工夫」・「舞台美術(自作の衣装・小道具)の工夫」(1部)(該当する学校のみ)

Web上で入力した基本シートを印刷し、A用紙・B用紙・CDと共に郵送すること。

⑦ 「使用曲目報告書」は郵送する必要はない。プログラム原稿と一緒にアップロードすること。

4. 規定事項

(1) 著作物の引用について

ある著作物に発想を得て独自のものを創作することと、著作物を直接引用することは異なるので、本大会で公開しようとする作品の中で、他者の著作物(文学、美術、舞踊、写真、動画などの作品)の引用を行う場合は、その著作物の領域における引用ルールに準拠すること。計画の段階で様々な可能性(出典を示すのみで良い、許可を受ける必要がある、料金を支払う必要がある、な

ど)について予め情報を収集し、各校で対応すること。著作権管理者が外国にある場合などは、連絡に時間がかかることが考えられるので注意すること。

(2) 伴奏音楽

<録音規定>

① 伴奏音楽は、新品 CD-R に 1 作品分のみを録音すること。

* 「音楽用」と記された CD-R を使用することが望ましい。

CD 3 枚は、いずれも全く同じ内容のものであることを入念にチェックしたうえで提出すること。

* 大会当日の上演では、提出された CD の音量操作などは、一切行わない。

② 伴奏音楽は編集済みのものとし、当日の操作は一切行わない（トラックを分けずに 1 曲に編集すること）。

③ 作品の最初に無音部分がある場合でも、CD の最初には無音部分を作らない。作品無音部分のあと、音楽が必要なところできっかけ出し係の合図によって CD をスタートする。すなわち、音は CD の 0 分 00 秒からスタートする。

④ CD は、オーディオ CD 形式で記録されたもののみ受け付ける。

データ形式 (wav, mp3, aiff, m4a 等) や DVD のものは使用できない。

オーディオ CD 形式の音源製作方法については、使用する機材、アプリケーションソフトのマニュアルを参照すること。

⑤ 音楽著作権に違反する音源利用や事実と異なる情報（特に、人権侵害に関わる内容など）を伴奏内に編集することは厳禁とする。

(3) 舞台・きっかけ出し係・作品の始め方

◆舞台の大きさ

<大ホール> 間口 22.0m × 奥行き 15.8m

<中ホール> 間口 16.4m × 奥行き 15.8m

※実際に使用できる空間（演舞スペース）は両ホールとも、間口約 16.4m×奥行き約 11.0m

※演舞スペース（p.21、 p.22、 p.42）以外で踊ることはできない。

① きっかけ出し係

- ・本番の際、作品を熟知している人で、「作品の始め」及び「伴奏音楽開始」の合図をする人を各作品で必ず 1 人付けること。原則として、高校は指導者、大学は出演者以外の者とする。
- ・やむを得ず出演者が行う場合は、作品の始まりに板付きをしない者であること。
- ・出演者以外で舞台上手袖に入ることができるのは、B 用紙に書かれた「きっかけ出し」係 1 名とする。
- ・やむを得ず「きっかけ出し」係が交代する場合は、必ず「上演打合」時に申し出ること。
- ・作品の進行はきっかけ出し係の指示に従って行うので、始まりの合図（以下 Q と表記）が正確に出せるように準備しておくこと。

【合図の仕方】 [片手を頭上に挙げて用意→素早く大きく振り降ろす=Q=「スタート」]

<楽屋・舞台下手袖に入ることができる者（入場証を必ず着用のこと）>

	高 校	大 学
楽屋入室可 (舞台下手まで可)	・出演者 ・指導者1名 ・きっかけ出し係(原則として指導者) 1名	・出演者 ・指導者1名 ・きっかけ出し係(出演者が兼ねることも 可能)1名
舞台下手袖入場可	・出演者 ・きっかけ出し係(原則として指導者) 1名	・出演者 ・きっかけ出し係(出演者が兼ねることも 可能)1名

② 作品の始め方(参加発表部門は【決選】の部分参照。アナウンス終了後に板付きを行うこと)

【予選】 (地明かり・ホリ ゾントのまま。大 黒幕・黒紗幕は使 用しない。)	音先行/動きと音 同時の場合	アナウンス終了→きっかけ出し係が音響に Q または アナウンス終了→板付き→きっかけ出し係が音響に Q
	動き先行の場合	アナウンス終了→板付き→無音で演技開始→ きっかけ出し係が音響に Q
【決選】	音先行の場合	アナウンス終了→板付き→きっかけ出し係が音響に Q
	照明先行の場合	アナウンス終了→板付き→板付き完了をきっかけ出し係が舞台監 督に伝える→舞台監督から照明に Q→きっかけ出し係が音響に Q
	音と照明同時の場合	アナウンス終了→板付き→板付き完了をきっかけ出し係が舞台監 督に伝える→舞台監督から音響・照明に同時 Q

★創作コンクール部門のアナウンスは「プログラムナンバー」と「作品タイトル」のみ。
グループ名は紹介しないので注意すること。

③ 舞台の出入り

① 出演者の動き

- ・創作コンクール部門は自校上演 4 作品前に、舞台袖入口付近に待機する(個票の配布は行わ
ない。待機する舞台袖は、「p.21 (6) 大会期間中の上演に関わる進行 ⑥ 楽屋から舞台
への経路・舞台袖での待機場所」を参照)。ただし、休憩後 4 作品の上演については、自校の
上演開始から **25 分前**に舞台袖入口付近に待機すること。
- ・参加発表部門は自校上演 3 作品前に、舞台袖入口付近に待機する(個票の配布は行う。待機
する舞台袖は、「p.21 (6) 大会期間中の上演に関わる進行 ⑥ 楽屋から舞台への経路・
舞台袖での待機場所」を参照)。ただし、休憩後 3 作品の上演については、自校の上演開始か
ら **15 分前**に舞台袖入口付近に待機すること。
- ・両ホールとも、出演者は下手袖から舞台に出て上演し、上手袖にはけることを原則とする。
板付きで始まる(終わる)場合、小道具の流れも、すべて同様である。
- ・作品開始時の板付き以外は、作品途中で上手から登場して演技することが出来る(上手出と
して B 用紙に記入する)。上手出の出演者はスタッフの合図後、自校作品のアナウンス前に
舞台上を横切って下手から上手に移動する(作品時間には含めない。舞台裏を通過して上手に
移動はしない。演技中に舞台裏を通ることは可能)。
- ・上手出の出演者が、上手袖に小道具を設置する必要がある場合は、スタッフの合図後、自校
作品のアナウンス前に、「下手→舞台(通り抜け)→上手」に移動をし、アナウンス終了後、

上手袖に小道具を設置すること。この場合にのみ、上手から直接舞台に板付きすることを可とする。

- ・作品途中で下手袖にはけたまま作品が終了する出演者は、作品終了後に下手袖から速やかに舞台上を横切って上手に移動する。その際、小道具だけが下手袖に残ることがないように注意すること。
- ・作品終了後に上手袖で声を出す出演者が例年見受けられる。次の作品の上演の妨げにならないような行動を心がけること。

② きっかけ出し系の動き

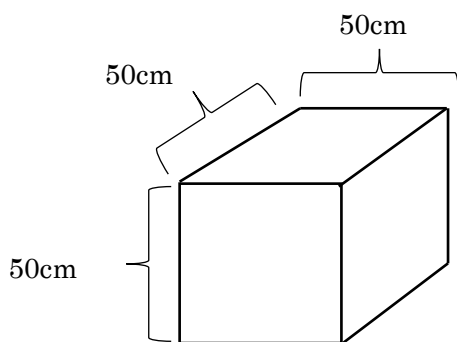
- ・きっかけ出し係 1 名（大学生の場合は出演者が兼ねることも可能）のみ下手舞台袖に入ることができる。
- ・きっかけ出し係は、作品上演中に下手袖から離れることはできない。作品上演後は、次の上演グループの邪魔にならない下手袖内で待機し、係の誘導に従い、自校出演者と合流して楽屋に移動する。
- ・きっかけ出し係は小道具を持つことはできない。

(4) 小道具・衣装（本要項巻末、「B 用紙 記入上の注意事項 B 用紙記入例」および大会ホームページ「よくある質問（上演）」を熟読すること。）

① 小道具

a. 大きさ、数量、取り扱いについて

- ・小道具は 1 つの道具につき、上演打合時に設置する 一辺 50cm の立方体の中に収まる範囲の大きさであること。 楽屋入りから舞台袖に向かう際、また上演後楽屋に戻るまでの持ち運びの際、この箱に収まるサイズで持ち運びを行うこと。



※ただし、参加発表部門に限り、バトントワリングのバトンのような競技種目の手具として利用される上記サイズ規格外の小道具の利用は、事前申請制で許可された場合のみ使用できる。

※参加発表部門において、上記サイズ以外の小道具を利用する場合は、B 用紙提出前に事前に「東京分室問い合わせフォーム」にて使用する小道具（写真を添付）と、大きさ、数量、材質、使用場面、使用方法を届け出て、事前に許可を得た上で、B 用紙を提出すること。

- ・本番を含むすべての状況で、出演者のみで管理、持ち運び、設置・撤去が可能なものであること（出演者以外は小道具に触れることができない）。

●楽屋から作品アナウンス前の行為において違反になるものの例

- 1) 重たい小道具とそれを運ぶキャスター台が全体で一つにまとまっている。
- 2) 伸縮性のある棒を上演以外（楽屋・廊下・舞台袖）で 50 cm以上に伸ばす。
- 3) 大きな布をすぐ広げられるように塊にした状態の一边が 50 cmを超えている。

- ・ 1 個の小道具を複数人数で運ばないこと。
- ・ 衣類が小道具になる場合は、衣装を身に付けたまま、上記の既定の大きさに収まるようにして上演するまで待機すること。
- ・ **小道具の個数が B 用紙へ記入されていない場合は、1 個とみなす。**
- ・ 危険物、吊り物の使用は不可。
- ・ 舞台上に出演せず、衣装の早替えや道具の設置のための介添えをする黒子は許可しない。
- ・ 小道具の組み立ては、アナウンス終了後、解体は上演終了後、舞台上で行うこと。
- ・ **小道具に変化を加える場合は、アナウンス終了後に行うこと。また上演後、上手に退場する際も小道具のサイズは元に戻して安全に留意して退場すること。**
- ・ **出演者および小道具が全て上手へ退場するまでが作品時間となるので注意すること**（特に作品終了時、下手袖に小道具だけが残ることがないように注意すること）。
- ・ 作品終了時、小道具が舞台袖にある場合、作品制限時間内に上手へ退場する際に既定のサイズ内に収まる大きさにしてから退場すること。
- ・ 作品途中で、小道具が大きなサイズのまま、舞台袖へ退場し、**小道具が舞台袖にある場合、作品制限時間内にサイズ内に収めること。**
- ・ スタンバイや上演終了後の撤去の際、小道具が前後のグループの上演（上・下手、舞台裏通路の移動など）の妨げにならないように考慮すること。上演の妨げとなる可能性のある場合は、「上演打合」で変更を指示する場合がある。
- ・ 小道具を使用する際は、必ず B 用紙の「⑩小道具」欄に、「大きさ、数量、材質、使用場面、使用方法」などを具体的に明記すること。**道具が欄内書ききれない場合のみ、B 用紙裏面に記入すること。**使用可能か判断がつかない場合は、「AJDF 東京分室問い合わせフォーム」から問い合わせること。
- ・ **規定に違反する恐れのある小道具に関して、舞台運営安全上問題がある場合を除き、事前に係から参加校へ連絡・確認することはしない。**
- ・ 床（リノリウム）を傷つけたり汚したりしないよう小道具・舞台で使用する靴などの養生を行うこと。特にキャスターを利用する場合は、必ずビニールテープなどで養生し、剥がれないように練習ならびに確認をしてくること。
- ・ **滑り止めのための雑巾（ビニール敷き）を舞台袖に置く場合も、B 用紙の「⑩小道具」欄に記入すること。**

② 衣装

- ・ **衣装は B 用紙提出後でも変更を認めるが、照明案は変更できない。**
- ・ 衣装の装飾品や付帯物で、踊っている間にはずれる可能性があるものは、**必ず縫いつけること。**シールタイプのスパンコール等、上演中に落下するものがないように十分留意すること。
- ・ 衣装の種類や変化については、B 用紙に記入しなくてよい。
- ・ 帽子や靴など、**身体から離れて使用するものは衣装でも小道具となるため、B 用紙「⑩小道具」欄に記入すること。**
- ・ 上演打合時に**衣装を持参する必要はない。ただし、衣装が小道具となる場合は、持参すること。**

(5) 照 明

予選：地明り、バックは Horizont を使用し、大黒幕・黒紗幕は使用しない。

決選・参加発表：提出された B 用紙を基に専門の照明家が操作するが、細かな指定やイメージについては、すべて対応できない場合もあるので、あらかじめ了承願いたい。

※B 用紙提出後の変更については対応できないので注意すること。

※衣装を変更しても、照明案は変更できないので留意すること。

※B 用紙に具体的な照明案の記入がない場合は、テクニカルスタッフへ一任する形となる。照明については、「B 用紙 記入上の注意事項 B 用紙記入例」を熟読し、参照すること。

※作品終わりの暗転のきっかけとなるタイムを明確に書くこと。

※照明の展開（きっかけ）は、細かくなり過ぎないようにご協力ください。

(6) 大会期間中の上演に関わる進行

① 作品上演のためのスケジュール

参加グループの増減により、多少の変更が生じる場合もあるため、詳細は大会ホームページの最新版の出演順ならびに当日配布資料にて確認すること。

② 上演打合（舞台監督と上演担当者が行う）

以下のスケジュールは変更になる場合があります。詳細は大会ホームページの最新版の情報ならびに当日配布資料にて確認すること。

●創作コンクール部門（予選出場校）@大ホールロビー

8月4日（火） 高校① 10：00～12：30 高校② 18：15～18：40
大学 10：30～12：00

●創作コンクール部門（決選出場校のみ）@大ホールロビー

8月6日（木） 高校 9：10～9：50 大学 9：20～10：15

●参加発表部門 @中ホールロビー

8月5日（水） 両部門参加校 15：00～17：00
8月6日（木） 参加発表部門のみ 9：20～10：10

- ・上演打合は、1グループ1～2名とし、B 用紙の最終チェック（作品の始め・終わりの照明案、出演人数、きっかけ出し係、小道具の確認、その他特に必要と思われる注意点の最終確認）のために行う。これ以降の変更はできないものとする。
- ・提出済みの B 用紙の内容について、最終チェックを行う。
（けが等による出演人数やきっかけ出し係の変更、衣装の変更は B 用紙と異なっても可。）
- ・上演打合（予選）には、使用する小道具（舞台上へ持ち込むもの全て）を必ず持参すること。同じものを複数使用する場合はその種類につき1つでよいが、使用する道具の種類が分かるように持参すること。舞台上演の妨げになるものがないか、規定範囲内の大きさかのチェックを行う。
- ・上演打合において、大きな布など大きさを測る際に時間がかかることが予想される場合は、作品上演のための収納方法と異なっても、測りやすいたたみ方をして持参するなど、打合の時間内で収まるように工夫すること。
- ・上演打合において、B 用紙に記入した小道具の数および大きさが減少することは認めるが、増加することは認めない。B 用紙から個数や大きさに変更が出た場合は、ここで必ず伝えること。
小道具の大きさが B 用紙提出時からやむを得ず減少する場合は、大きさの種類が B 用紙申請時

から増加しないようにすること。

- ・上演打合後で小道具を確認した後、場当たりの際に小道具（または小道具の数）を変更することはできない。
- ・決選の上演打合は、8月6日（木）に行う。時間は変更になる場合もあるので、最新の情報を大会ホームページで確認すること。この際、小道具は指示を受けた場合のみ、持参する。
- ・上演打合において、B用紙の照明の変更は一切受け付けない。
- ・所定の時間内に上演打合を済ませなかったグループは参加不可もしくは審査対象外とする。

★上演打合スケジュール（予選） 詳細は7月中旬に大会ホームページに掲載する。

やむを得ない理由により、上演打合に参加出来ない場合は、必ず事前に AJDF 東京分室まで連絡すること。

③ **創作コンクール部門** 予選 場当たり

※創作コンクール部門予選のみ、場当たりを行う。

◆制限時間と場所 ※制限時間厳守！（参加校数によって短縮することがある。）

高校予選（大ホール） 1グループ 1分+入れ替わり 15秒

大学予選（中ホール） 1グループ 2分+入れ替わり 30秒

※決選：大ホールの場当たりは行わない。

◆進み方

客席→下手花道→登壇→下手袖→場当たり→上手花道→客席

- ・舞台を使用して位置確認や出入りの動線を確認する。
- ・B用紙に記入してある上演打合で確認を済ませた、上演時に使用する小道具、舞台袖に持ち込むものはすべて持参すること。持参しない場合は、本番での使用を認めない。
- ・上演打合で上演スタッフより、変更を依頼された場合は、全ての事柄の変更を反映させた状態で場当たりに参加すること。
- ・場当たり開始予定時刻の10分前には客席に待機すること。
- ・場当たり時に入場できるのは、出演者、顧問、指導者、体育館入館証を所持している者のみとする。
- ・場当たりは、予定よりも早く進行することがあるので、ホール客席に余裕をもって到着すること。
- ・予定時刻に来られないグループの場当たりは、いかなる理由があっても実施しない。
- ・場当たりにおいても、会場内でのビデオ撮影・動画撮影・写真撮影・録音は禁止とする。
- ・場当たり会場の客席で、更衣・化粧などは禁止とする。
- ・場当たり終了時は、すみやかにホールから退席すること。

★創作コンクール部門の上演進行予定表（基礎表）は、7月中旬に大会ホームページに掲載する。

★やむを得ない理由により、場当たりに参加出来ない場合は、必ず事前に AJDF 東京分室まで連絡すること。

④ **参加発表部門** 照明下見（リハーサル）および本番

- ・参加発表部門の作品は、照明下見では本番通りに作品を上演する。
- ・照明下見および本番の進行は、会場到着時の「登録受付」で配布される詳細スケジュールに全て従うこと。

①照明下見（リハーサル）

◆制限時間と場所

1チーム 約4分00秒+入れ替わり30秒 中ホール

◆進み方

楽屋→下手（上手）待機→通し稽古1回→照明の調整を含む場当たり→上手退場→楽屋

- ・本番同様に衣装や道具を使用すること。上演に際し照明家と特に打合せが必要な箇所について確認するため、地明かりのまま行う。
- ・指定された時刻に「照明下見」を行わないグループは本番の参加は不可とする。

②本番

- ・参加発表部門 上演進行予定表（基礎表） 詳細は7月中旬に大会ホームページに掲載する。
- ・参加発表部門本番（高校・大学） 8月7日（金） <中ホール> 9:45～

⑤ ウォームアップから楽屋入り・本番まで

（詳しくはp.25 「V. 2. (2) ウォームアップエリア (3) 楽屋」の項を参照）

今大会では神戸市立中央体育館2階競技場をウォームアップエリアとし、楽屋入り直前の所定時間でウォームアップを行うことができる。

また、楽屋は以下の二つのうちいずれかの指定された場所を使用する。

使用場所・時間等の詳細は後日、大会ホームページに掲載する。

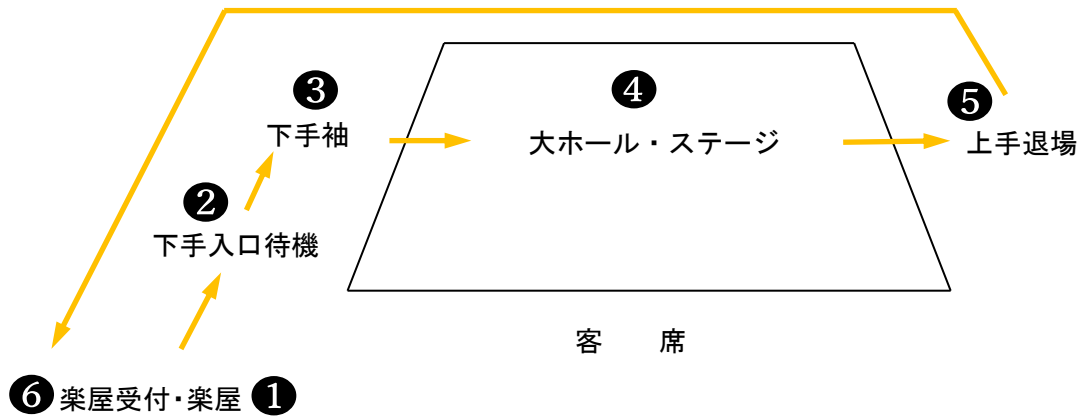
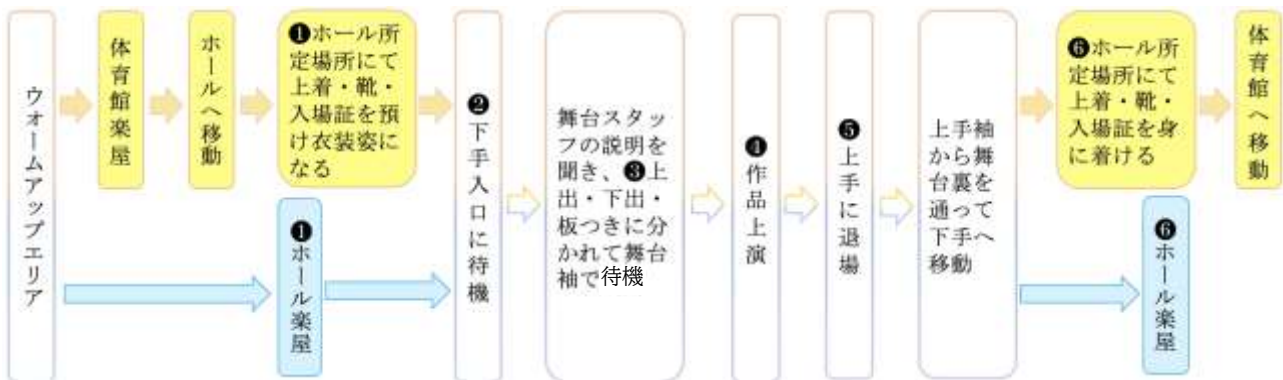
ホール楽屋：神戸文化ホール内 a) 大・中ホール附属楽屋 b) リハーサル室

体育館楽屋：神戸市立中央体育館内 1階体育室（文化ホールより徒歩約5分）

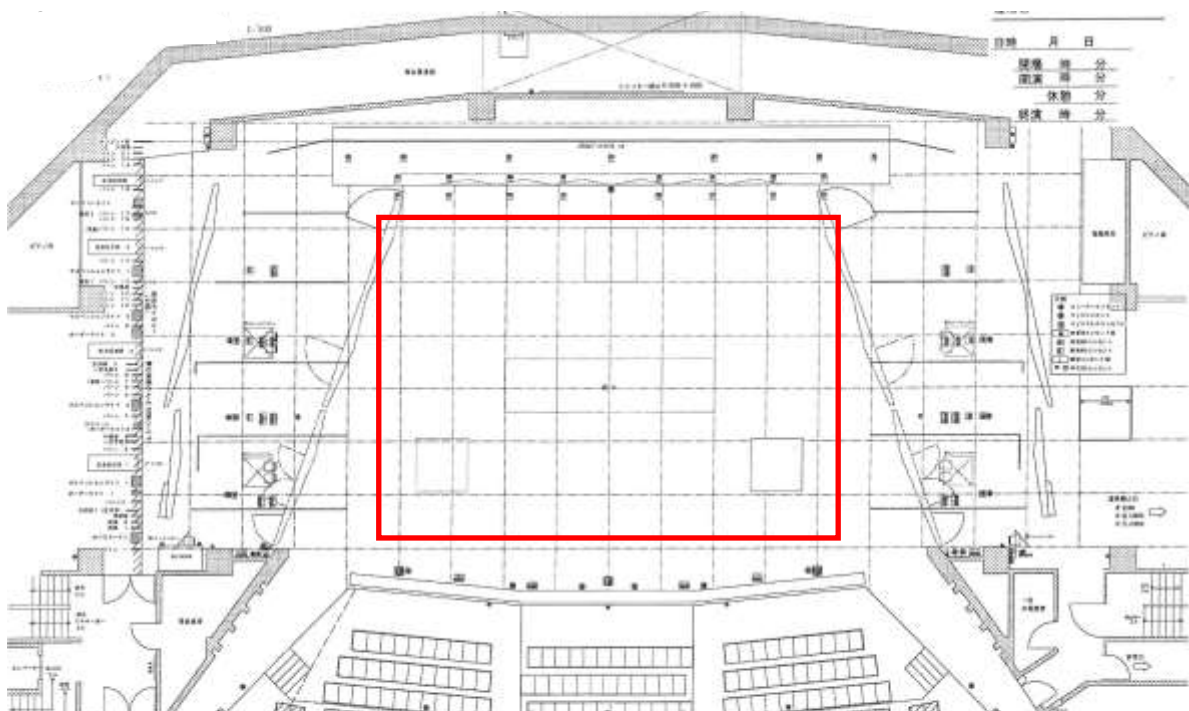
⑥ 楽屋から舞台への経路・舞台袖での待機場所

大ホール：創作コンクール部門 高校予選・決選、大学決選

* 体育館楽屋使用者はホールとの間の移動時間を考慮すること。



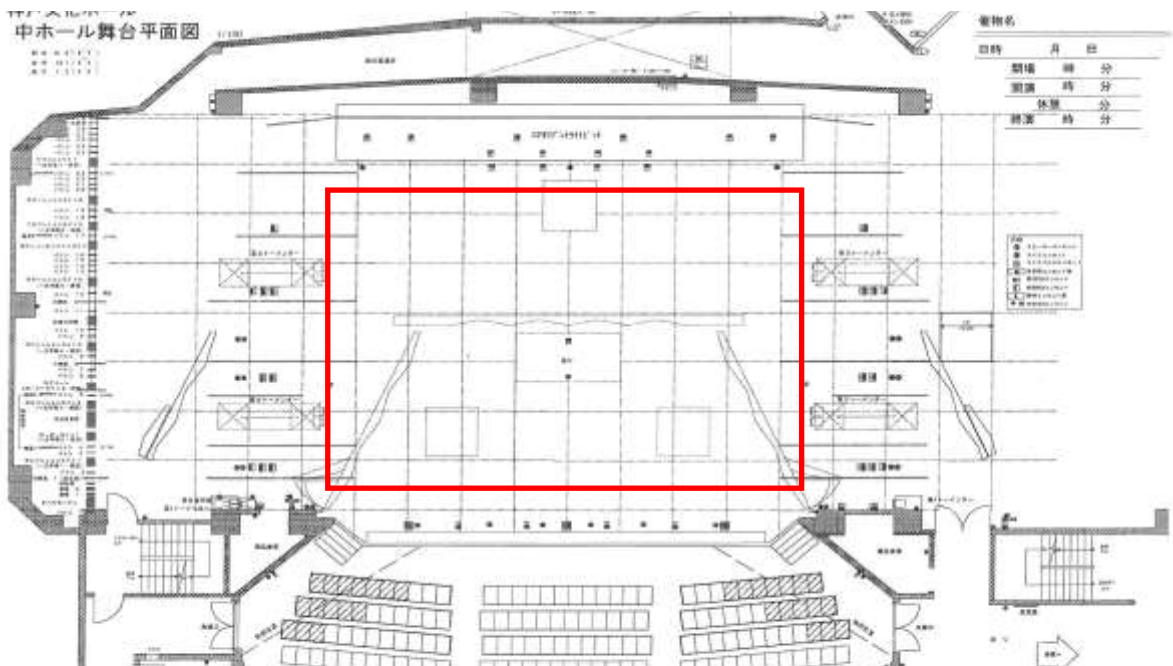
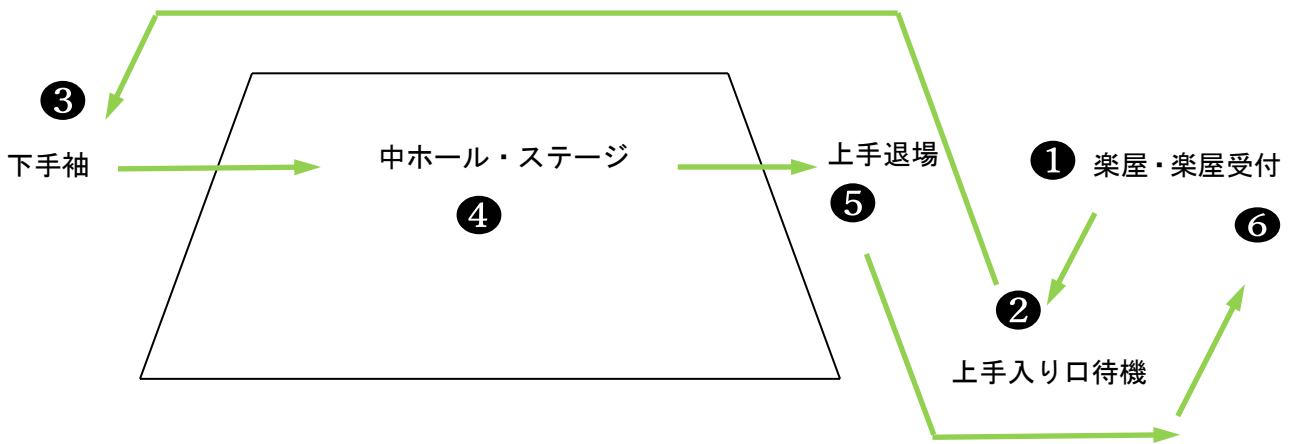
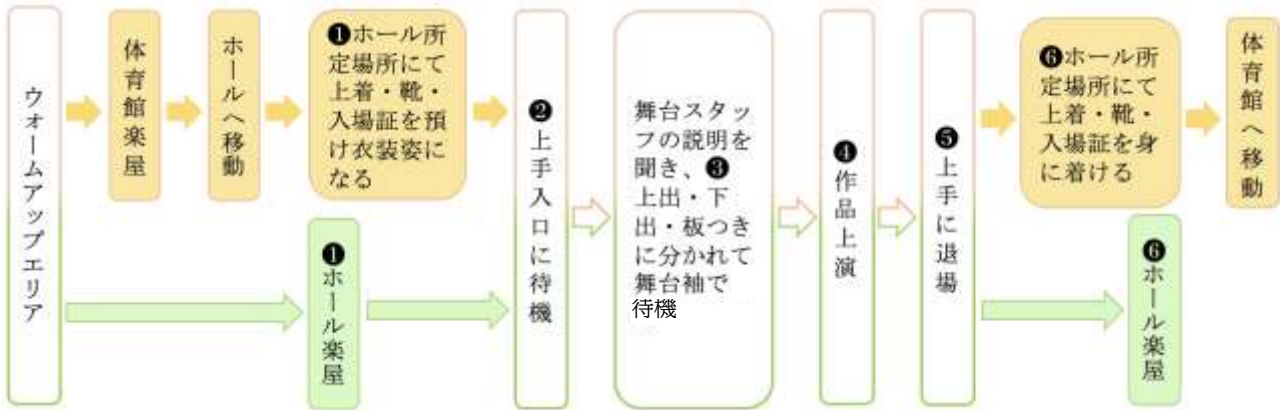
⑥ 楽屋受付・楽屋 ①



→ 演舞スペース

中ホール： **創作コンクール部門** 大学予選、 **参加発表部門** 照明下見、本番

* 体育館楽屋使用者はホールとの間の移動時間を考慮すること。



→ 演舞スペース

注 意 (大ホール・中ホール)

※スタンバイや演技終了後に舞台裏の通路を通る時は、上演中の作品の妨げとならないように、通路の奥側を1列で通ること。

※前のグループの上演中は作品の妨げとならないように、舞台スタッフが指示した待機スペースで待つこと。上演中のチームは、待機スペースに侵入しないこと。

※舞台裏の通路は、開演前に清掃をするが、裸足での通行の際には、足元に注意すること。

※創作コンクール部門高校予選では黒紗幕を使用しないので、決選で使用するグループは、舞台奥のラインに十分注意すること。

※客席に対して一番前の袖幕より前からの出入りは不可。

(7) 上演中のトラブル

上演中に事故・ミス等が起きた場合は、大会実行委員会の判断により、以下のように扱う。

- ① 主催者側の不手際で事故が生じた場合は、原則として再演する。
- ② 出演者側のミスで事故が生じた場合は、きっかけ出し係に続行か中止かの判断を求める。
(この場合、再演はしない。)

(8) 注意事項

- ① 舞台上への火気、危険物の持ち込みは厳禁。
- ② 貴重品の管理は各グループで行うこと。万が一、盗難等の事故が生じても、主催者は責任を負わないので十分注意すること。
- ③ 舞台袖で濡れ雑巾を使用する場合、必ずビニール等を敷き、床を濡らすことのないように注意すること。この場合、B用紙の「⑩小道具」欄に詳細(ビニール・雑巾の数、設置場所)を記入すること。

(9) 作品発表に関する問い合わせ先

AJDF 東京分室



AJDF 東京分室問い合わせフォーム：

<メールで問い合わせる場合>

件名の最初に【AJDF38】と記載し、タイトルと学校名を書くこと。

例：【AJDF38】〇〇について (〇〇高校)

(10) 参加辞退、出演する部門の変更について

参加を取り消す場合には、必ず大会事務局に申し出ること。

→大会事務局 (神戸市文化スポーツ局スポーツ企画課) edu-ajdf@city.kobe.lg.jp

両部門参加から、1つの部門の参加になる場合も、必ず申し出る事。

5. 違反について

大会のスムーズかつ公正な実施・運営を妨げる、以下の①～⑧の違反行為があった場合、その事実が判明した時点で当該作品の大会への参加を不可とし、速やかに学校宛にこれを伝える。また、同様の理由で、大会期間中であっても参加取り消しや失格、コンクール部門では審査対象外や減点対象となる場合がある。その場合は大会本部より顧問（指導者）にこれを伝える。

① 参加資格や内容の違反

p.8に記載された参加資格や内容に違反した場合

② 大会前の提出物等の遅延や誤り

災害等の特殊事情がある場合以外の、下記の提出物等の遅延、また提出物送付方法の誤り

- ・参加申込、A用紙、B用紙、CD、プログラム原稿、登録料振込
- ・使用曲目報告書（両部門）
- ・「音響」「舞台美術」の調査用紙（創作コンクール部門の該当グループのみ）

③ 出演者・出演人数についての違反

プログラム原稿提出で出演者・出演人数は確定するが、傷病等の理由でやむなく変更せざるを得ない場合は出演者変更届を提出する事。提出されない場合は違反となる。

④ 舞台・ウォームアップエリア・楽屋等に関する違反

リノリウム床・ホリゾン幕・照明器具、体育館の床等、その他の会場設備を破損した場合（この場合、修理等にかかる費用が請求されることもある。）

⑤ 小道具・衣装に関する違反

- ・B用紙に届け出ていない小道具等を持ち込み、上演に用いた場合
- ・衣装・小道具等の使用によって前後の出演グループの上演の妨げとなった場合
- ・衣装・小道具等の使用によって会場設備を汚したり破損したりした場合
- ・衣装・小道具等を舞台上や舞台袖に残して退場したり、上演中に客席などに落としたりした場合

⑥ 伴奏音楽に関する規定違反

- ・＜録音規定＞⑤「音楽著作権に違反する音源利用や事実と異なる情報（特に、人権侵害に関わる内容など）を伴奏内に編集することは厳禁とする。」に違反した場合
- ・自作曲でないのに、使用曲目申請がない楽曲を使用した場合

⑦ 大会前・期間中に定められた場への欠席

- ・定められた場とは、「顧問会議」「登録受付」「参加校受付」「上演打合」「照明下見」「場当たり」を指す。事前に個別の呼び出しを受けている場合はこれも含む。

⑧ その他

- ・大会会場全てにおけるマナー違反、等

具体的な例は、p.45～p.48 参照

V 大会期間中の手続き・注意事項

1. 受付

(1) 登録受付 <エントランスホール>

- ・参加人数の確認
 - ・プログラム・入場証・体育館入館証・ストラップ・係からのお知らせの受け取り
 - ※出演者数が多数の学校は2名で来ること。
 - ※出演者・指導者・きっかけ出し係は大会期間中、入場証・ストラップを必ず着用すること。
但し、上演打合についてはこの限りでない。
- (本大会以外の入場証を使用したり、未登録者が登録者の入場証を使用することは許されない。)

登録受付 … 到着初日

- ★創作コンクール部門…8月4日(火) 高校、大学全てのチーム
 - ※詳細については、後日大会ホームページをご確認ください
- ★両部門出演校…両部門ともコンクール登録受付時に行うこと。
- ★参加発表のみの出演校…8/6 照明下見楽屋入りまで。開会式に参加する学校は8/4の16時まで。

(2) 参加校受付(登録受付翌日以降) <エントランスホール>

※出演日(毎日)、割り当て練習、楽屋に入る前に必ず行ってください。

- ・出演者の確認、係からのお知らせ(変更点など)の受け取り

8月4日(火)	12:30~16:30
8月5日(水)	8:10~16:30
8月6日(木)	8:30~16:00
8月7日(金)	8:30~13:30

2. 会場

(1) 割り当て練習<神戸市立中央体育館2階競技場>

大会1日目に創作コンクール部門出演校を対象とした割り当て練習を実施する。時間等の詳細は後日、大会ホームページに掲載する。なお、登録受付(前項「1.受付(1)参照」時間よりも早く体育館に入館する場合、入場証・体育館入館証の申込人数・支払いが確認できるWeb画面を体育館受付にて提示すること(人数確認のため、揃って入館)。

(2) ウォームアップエリア<神戸市立中央体育館2階競技場>

本番前の楽屋入り直前の所定時間でウォームアップを行うことができる。時間等の詳細は後日、大会ホームページに掲載する。

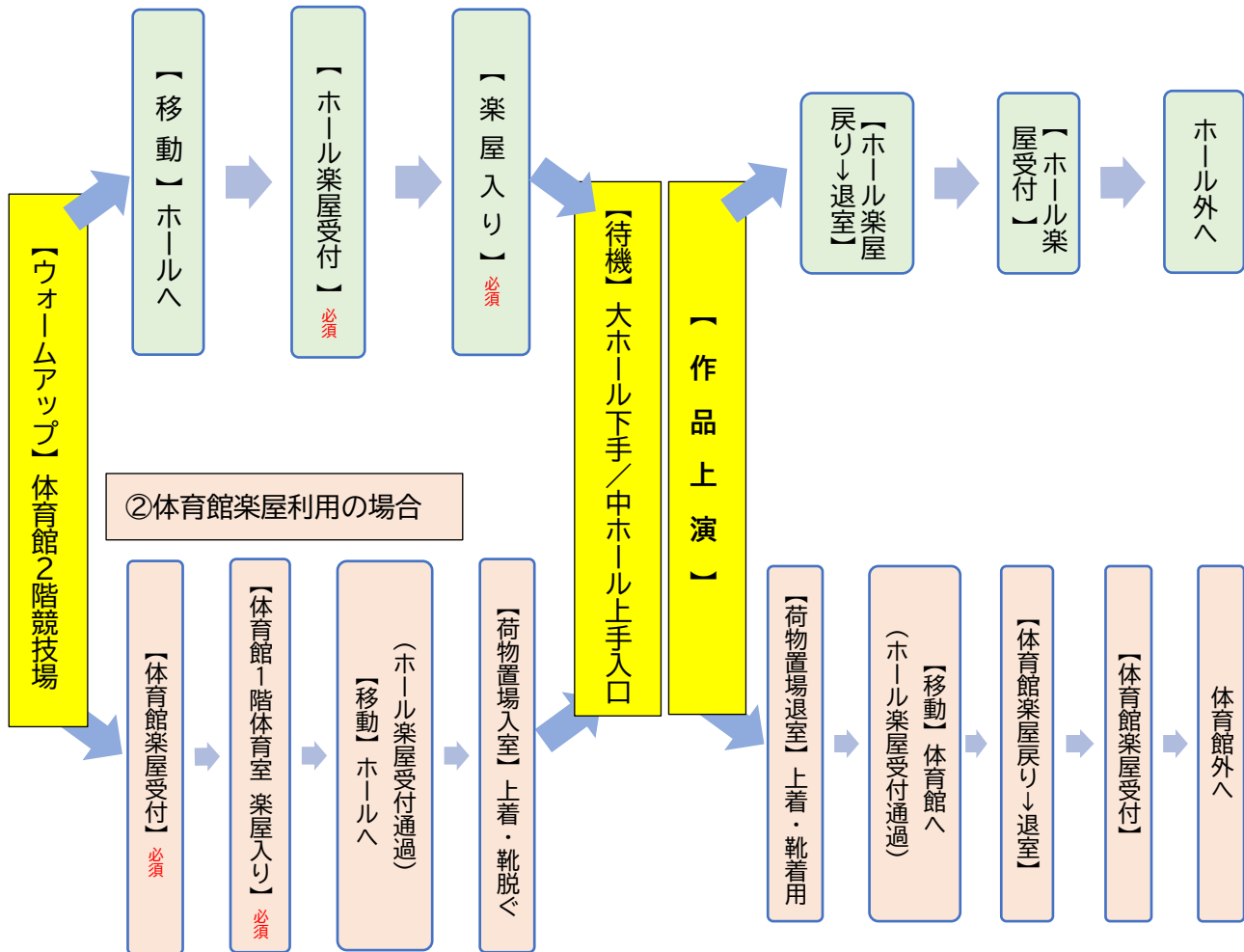
(3) 楽屋<大ホール楽屋・中ホール楽屋・リハーサル室・体育館1階体育室>

今大会では、以下の場所を楽屋とする。

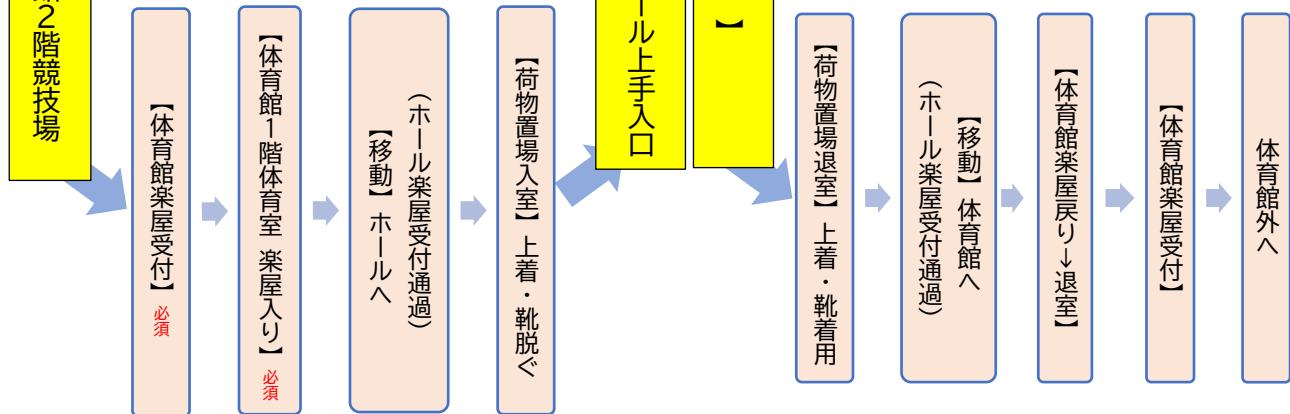
ホール楽屋：神戸文化ホール内 a) 大・中ホール附属楽屋 b) リハーサル室

体育館楽屋：神戸市立中央体育館内 1階体育室（文化ホールより徒歩約5分）

①ホール楽屋利用の場合



②体育館楽屋利用の場合



- ・楽屋の使用は必須。更衣・メイクは指定された楽屋で行うことを原則とする。
- ・ホール楽屋と体育館楽屋では、待機場所までの移動にかかる時間が異なるので注意すること。
- ・体育館楽屋を使用する場合は、衣装着用・メイクの後に上着・靴・入場証を身に着け、ホールへ移動する。その後、ホール内の所定の場所で上着・靴を脱いで衣装姿になる（靴は各自用意した靴袋に入れる）。上演後は、同じ場所で再び上着・靴・入場証を衣装の上から身に着け、体育館楽屋へ移動する。
- ・ホール楽屋、体育館楽屋にはそれぞれ受付がある。楽屋入退室の際は、各グループ全員が揃った上で楽屋受付を行うこと。
- ・不審者の侵入を防止するために、楽屋受付を通る際は入場証の着用が義務づけられている。入場証は必ず首にかけ、タオル等で隠れないようにすること。
- ・楽屋への入室が許可されるのはB用紙で登録されている出演者・指導者1人・きっかけ出し係1人のみとする。また、下手袖に行くことが許可されるのは出演者・きっかけ出し係1人のみとする。
- ・いずれの場合にも楽屋からの誘導は行わないので各チームで時間に注意し、行動すること。

※ウォームアップエリア及び楽屋使用時間・場所・注意事項等の詳細は後日、大会ホームページで知らせる。



（3）待機場所＜神戸市立中央体育館観客席＞

大会期間中、体育館観客席を待機場所として使用することができる。

（4）ホール入場・客席

- ① 創作コンクール部門（高校・大学予選および決選）、参加発表部門は有観客で行う。2階席は、学割席（学校ごとのエリア指定）として販売する予定である。入金後の返金（払い戻し）は一切行わない。
- ② 特別プログラムは全席指定席（有料）とする。※2回公演
- ③ 登録している顧問・指導者・怪我により出演できなくなった出演者が、チケットを購入出来なかった場合、自校作品のみ鑑賞できるよう会場係が対応する。
- ④ 一般鑑賞チケットは抽選により販売を行う（一次販売）。一次販売終了後に残席がある場合には先着によりオンライン販売を行う（二次販売）。現地での販売は行わない。入金後の返金（払い戻し）は一切行わない。高校決選（前半・後半）のチケットについてのみ、発券前に限りオンラインでのリセールを公演前日の23時頃までおこなう予定である。詳細は、後日大会ホームページにて掲載する。
- ⑤ いずれの部門も未就学児の入場はできない。
- ⑥ 非常に混雑するため安全面を考慮し、客席へのキャリーバッグの持ち込みを禁止する。キャリーバッグの一時置き場としてのスペースを設置するが、管理については各自で行い、大会本部は紛失・破損についての責任は一切負わない。

3. 式 典

(1) 開会式

開会式には、保護者・一般の方の入場はできない。

日 時	8月4日(火) 17:30~18:15 (大会1日目)
場 所	神戸市立中央体育館
座 席	開会式の座席には、アリーナ席と観覧席を使用する。 各高校・大学共に大会出演者・顧問・指導者から開会式参加人数登録を Web 申込により申請 (アリーナ席数と観覧席数) すること。
入 場	集合時刻までに各校でまとまって入場すること (申請した人数のみ入場可能)。入場時には、登録受付時に配布される <u>入場証 (または体育館入館証) ・ストラップ</u> を必ず着用すること。 後日、大会ホームページに掲載される人数を厳守すること。
荷 物	手荷物は必ず観覧席の下か膝の上に置くこと。 ※荷物で観覧席を占領しない。 アリーナに入る人は、荷物を観覧席に座る人に預けること。 通行の妨げとなるので、自席に置けない小道具等は持ち込まないこと。
参加校紹介	地域ブロックごとに紹介する。
宣 誓	参加校を代表して高校・大学各1校の代表者1名(計2名)が宣誓を行う。 宣誓メッセージは下記の通り募集する。 ※宣誓は、プログラムにて宣誓メッセージを掲載する(口頭での発表はしない)。 【応募内容・方法】 応募詳細については大会ホームページに掲載する。 【応募締切日】 5月22日(金) 17:00 まで 【選考方法】 6月上旬に実行委員会で抽選により宣誓者を決定し、提出の詳細(原稿締切日6月12日(金))等を連絡する。 【公募専用メールアドレス】 E-mail: alljapandancefestival.kobe@gmail.com
みんなでパフォーマンス	開会式の最後に、全員でダンスパフォーマンスを行う。 詳細は、後日、大会ホームページに掲載する。
そ の 他	詳細及び変更事項は大会ホームページに記載する。開会式参加の場合は事前に登録受付を済ませること(登録受付時に配布する入場証【または体育館入館証】・ストラップ必須)。

(2) 表彰式・閉会式

表彰式・閉会式は、特別プログラム上演前に行われるため、特別プログラム(1回目)のチケットを持っていない方は入場できない。

日 時	8月7日（金）14：45～15：15（開場14：15頃）
場 所	神戸文化ホール 大ホール（指定席）
受賞チーム 代 表 者	受賞校の代表者2名が表彰式のリハーサルに出席すること。 表彰の実施方法・リハーサル時間等については、 <u>受賞校発表後に大会ホームページに掲載する。</u> なお、 <u>高校の準入賞校については、特別プログラムでの上演は行わないが、表彰式で表彰状の授与を行う。</u> 表彰式に欠席の場合は、大会本部に届け出ること。

4. 大会マナー

① 撮影（静止画・動画）・録音の禁止

- ・会場内（大ホール、中ホール、楽屋、**体育館**等）でのビデオ・動画撮影・写真撮影・録音は大会期間中厳禁とする。

② 楽屋の使い方、衣装での移動

- ・楽屋として指定されていない場所（ホール客席・ロビー・トイレ・屋外等）での更衣・化粧などは厳禁とする。
- ・体育館楽屋で衣装を着用しホール外を移動する場合は、必ず上着を羽織ること。
- ・楽屋でのメイク（ヘアスプレー等含む）で床を汚さないよう、ビニールシート等を必ず用意すること。体育館楽屋・リハーサル室楽屋では特に気を付けること。なお、体育館楽屋には鏡が無いため、必要に応じ各自で用意すること。
- ・同じグループでも男女間の楽屋の行き来は禁止とする。
- ・楽屋内で音楽を流すこと、踊ることは厳禁とする（ヘッドホン・イヤホンの使用は可）。

③ 大きな荷物の管理場所

- ・キャリーバッグは、各自の責任・管理で一時的置き場に置くことができる。（会場内の有料コインロッカーは、上演時間に限り使用可）但し、舞台小道具などは置くことはできない。グループの責任で、ホール外で管理する（会場内及び客席に放置することは厳禁）。

④ 割り当て練習・ウォームアップエリア（中央体育館2階競技場）

- ・大会1日目、創作コンクール部門出演校を対象とした割り当て練習を実施する。割り当て練習に入らないことへのペナルティはないが、時間の振替や他グループへの譲渡は不可とする。
- ・楽屋入り直前、ウォームアップで本番での怪我防止に努めること。
- ・衣装を着用しての練習・ウォームアップは可とする。土足厳禁（各自靴袋を用意すること）。
- ・会場での音楽再生・動画撮影、過剰な掛け声等で他校の練習を阻害するような行為は厳禁とする。
- ・紐やテープを床に貼る、床を汚す、傷付ける等の行為は厳禁とする。
- ・近隣公園および各宿泊所周辺での練習は禁止する。

⑤ 待機場所（神戸市立中央体育館観客席）

- ・待機場所での待機・休憩以外の行為（上記④及び荷物置き場としての利用）は厳禁とする。

⑥ ゴミの持ち帰り

- ・各会場・公園等でもゴミ（弁当の空き箱など）はすべて持ち帰る。

⑦ 客席内での食事は禁止する。

5. 肖像権、写真・映像の使用について

大会期間中、大会役員・NHK・フォトスタジオ八木スタッフが作品や大会期間中の様子を写真や動画で記録し、今後の大会運営の参考にするほか、PR など、大会運営上必要と判断される場合に使用することがある。

大会運営上必要な写真や動画の使用について、同意できない事情がある場合は、大会開催までに大会事務局まで申し出ることとする。特に申し出の無い場合には、同意したものとする。

※テレビ局、新聞社など大会を取材するメディアが使用の希望を申し出た際は、個人が識別される写真・動画の使用について当該者に別途連絡することとする。

VI その他の申し込み

1. 広告協賛による大会支援のお願い

本大会の維持と今後の更なる発展のために、貴校・貴学をはじめご卒業生やご関係の方々より、大会プログラムでの広告協賛によるご支援を募っています。是非ご協力をお願いいたします。

- 発行部数：4,000部（予定）
- 申込方法：大会ホームページ申込画面より
- 申込期間：4月1日（水）0：00～6月24日（水）まで
- 支払方法：銀行振込で支払う。
- 支払期日：7月8日（水）まで

	文字広告	写真広告	ホームページ広告
協賛金額	1マス 5,000円～ (7.9cm×2.1cm)	B5サイズ：(カラー) 15万円～ (モノクロ) 10万円～ B6サイズ：(カラー) 7万円～ (モノクロ) 5万円～	バナー（リンク付） 10万円～

2. 『女子体育』の販売と作品映像について

○『女子体育』の販売について

(公社)日本女子体育連盟発行の『女子体育』（第38回AJDF報告特集号）には、全作品の講評および写真を掲載します。

【価格】

- 『女子体育』第38回AJDF報告特集号
1冊 税込1,320円＋送料 *次ページ価格表参照
- 『女子体育』第28～31回AJDF報告特集号
1冊 税込1,250円＋送料 *次ページ価格表参照
- 『女子体育』第32回AJDF報告特集号、2020年度オンライン大会報告特集号
1冊 税込1,300円＋送料 *次ページ価格表参照
- 『女子体育』第33～37回AJDF報告特集号
1冊 税込1,320円＋送料 *次ページ価格表参照

【申し込み方法】

AJDFの大会ホームページより 8月4日（火）午前10時 OPEN 予定

※『女子体育』バックナンバーも同様にお申し込みいただけます。

- 《流れ》
- ステップ1 申し込みフォームをダウンロードする。
 - ステップ2 フォームに必要事項を記入。お名前をファイル名として保存。
 - ステップ3 フォームをメールに添付。件名を **38 AJDF『女子体育』申し込み**とし、宛先 japew@h8.dion.ne.jp に送信。

ステップ4 下記の口座に代金を振込。前払いです！

(振込手数料のご負担をお願いいたします。)

ステップ5 入金確認のメールをお送りします。ここで申し込み完了。

ステップ6 あとは『女子体育』の到着を待つだけ！11月初旬を予定しています。

《代金振込先》

★郵便振替口座 00190-4-33634

(公社) 日本女子体育連盟

振込用紙通信欄に「女子体育 AJDF 特集号
第〇回 (〇年度) 〇冊と書いて下さい。

★ゆうちょ銀行

〇一九店 当座 0033634

(公社) 日本女子体育連盟

『女子体育』第38回 AJDF 報告特集号 価格表(税込)

1～3冊：	1,320円／冊＋送料110円
4～5冊：	1,250円／冊＋送料150円
6～9冊：	1,250円／冊＋送料500円
10～29冊：	1,180円／冊＋送料500円
30～49冊：	1,110円／冊＋送料600円
50冊以上：	1,110円／冊＋送料900円

《代金振込締切》 9月24日(木) 取り扱い分まで

《個人情報の取り扱い》

以下の個人情報の取り扱いについてご同意の上、お申込み下さい。

全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)実行委員会事務局、及び(公社)日本女子体育連盟が個人情報を収集する目的は、『女子体育』大会報告特集号の申し込み受付とその後の連絡、商品の発送、売上結果一覧の作成・頒布に限っており、その範囲内において委託業者へ収集した個人情報を提供することがあります。

《お問い合わせ》 (公社)日本女子体育連盟 事務局

TEL : 03-3469-7995

FAX : 03-3469-8427

E-mail: japew@h8.dion.ne.jp

○作品映像について

上演作品の映像については、参加申込者へ後日お知らせ致します。

3. 写真撮影申し込みのご案内

舞台写真と楽屋写真の撮影分を一部門2,000円でWebに展示する予定です。

希望の学校(グループ)は、下記サイトから、「舞台写真撮影申し込み用紙」を入手し、

4月1日(水)～7月31日(金)の申込期間中にFAXにてお申し込みください。

(大会ホームページ上のバナーからもフォトスタジオ八木のホームページに移動できます)

フォトスタジオ八木

<http://www.photostudio-yagi.jp/>

TEL : 078-351-4676

FAX : 078-351-4744

4. 各種鑑賞チケットについて

創作コンクール部門（予選・決選）、参加発表部門、特別プログラムの各鑑賞チケットを販売する予定です。

創作コンクール部門（予選・決選）、参加発表部門については、**学割席**（2階席を予定）を用意します。一般申込を含む情報の詳細は、大会ホームページに後日掲載します。

【鑑賞チケット販売予定】

●創作コンクール部門

8月5日（水） 大ホール : 高校予選（ブロック別販売）
高校① No1～20 高校② No21～40
高校③ No41～60 高校④ No61～80
※参加校が決まり次第、出演校の割り当てを確定します

中ホール : 大学予選

8月6日（木） 大ホール : 高校・大学決選 ※高校の部は、前・後半の入れ替えあり

●参加発表部門

8月7日（金） 中ホール : 参加発表（ブロック別販売）
① No1～15 ② No16～30 ③ No31～45
※参加校が決まり次第、出演校の割り当てを確定します

●特別プログラム

8月7日（金） 大ホール : ※2回公演

【販売スケジュール】

① 学割チケット ※Web申込、抽選販売

特別プログラムを除く各公演の2階席を、学割席（学校ごとのエリア指定）として、参加校に対し販売します。学割席の購入については、出演者と体育館入館証を所有している部員（高校生・大学生）及び指導者・顧問を対象とします。

- ・申込期間・方法：6月1日（月）10:00～6月16日（火）17:00まで。上記「IV 参加要項 3. 参加のための手続き（2）」の参加人数登録等の際に、申込枚数を入力する。申込多数の場合は抽選を行い、6月23日（火）17:00までに結果を電子メールで通知する。
- ・入金期限・方法：6月26日（金）～7月8日（水）15:00まで。グループ登録料等と合算し、銀行振込・コンビニ決済等により入金する。入金後の返金（払い戻し）は一切行わない。
- ・発券方法 : 7月27日（月）を目途に、代表者1名に電子チケットを電子メールで送付する。

② 一般鑑賞チケット（1次販売・抽選販売） ※Web申込

どなたでもお申込みいただけるチケットです。

- ・申込対象の区分：高校予選（①～④）、大学予選、大学決選、特別プログラム（1回目・2回目）、参加発表部門（①～③）の一般鑑賞チケット
- ・申込期間・方法：6月1日（月）10:00～6月24日（水）17:00まで。大会ホームページから受付フォームに進み、申込者名・申込枚数等を入力する。申込上

限は1公演につき1人5枚までとする。申込多数の場合は抽選を行い、7月1日（水）19:00までに結果を電子メールで通知する。

- ・決済期限・方法：7月1日（水）抽選結果の通知以降～7月8日（水）23:59まで。コンビニ支払又はクレジットカードにて決済を行う。決済後の返金（払い戻し）及び当選したチケットのうち一部のみを決済する事はできないため注意すること。
- ・発券方法：7月27日（月）を目途に、申込者に電子チケットを電子メールで送付する。

③ 一般鑑賞チケット（1次販売・抽選販売） ※Web申込

どなたでもお申込みいただけるチケットです。

- ・申込対象の区分：高校決選（前半・後半）の一般鑑賞チケット
- ・申込期間・方法：6月1日（月）10:00～6月24日（水）17:00まで。大会ホームページから受付フォームに進み、申込者名・申込枚数等を入力する。申込上限は1公演につき1人5枚までとする。申込多数の場合は抽選を行い、7月1日（水）19:00までに結果を電子メールで通知する。
- ・決済期限・方法：7月1日（水）の抽選結果の通知以降～7月8日（水）23:59まで。コンビニ支払又はクレジットカードにより決済する。申込時にクレジットカード決済を選択している場合は、当選と同時に決済される。決済後の返金（払い戻し）及び当選したチケットのうち一部のみを決済する事はできないため注意すること。
※チケット代金にクレジットカード決済手数料やシステム利用料等を加えた額が決済金額となる。
- ・リセール：「高校決選（前半・後半）」のチケットに限り、購入後に鑑賞を取りやめる事情が生じた場合は、他の購入ご希望者へのリセールを行うことができる。リセールが可能な期限（公演前日の23時頃を予定）や条件の詳細は、後日、大会ホームページに掲載予定。
- ・発券方法(予定)：購入者各自でコンビニ（セブン-イレブン、ファミリーマート）にて紙チケットを発券する。発券方法については電子メールにて通知する。

④ 一般鑑賞チケット（2次販売） ※Web申込、先着販売

1次販売後に残席があった場合や、機材席の確定などにより生じた座席を先着順で販売する。詳細は、大会ホームページに後日掲載する。下記の情報と大会ホームページの情報とが異なる場合は、大会ホームページの情報が優先する。

- ・申込対象の区分：全ての一般鑑賞チケット（ただし、残席等がある部門に限る）
- ・申込期間・方法：7月下旬から各公演の終了予定時刻まで。ただし、売り切れ次第、販売を終了する。申込方法（Webでの申込）等の詳細は、大会ホームページに後日掲載する。
- ・決済期限・方法：申込と同時にクレジットカードにより決済を行う。チケット代金にクレジットカード決済手数料やシステム利用料等を加えた金額をお支払いいただきます。入金後の返金（払い戻し）は一切行わない。
- ・発券方法(予定)：購入者各自でコンビニ（セブン-イレブン、ファミリーマート）にて紙チケットを発券する。
- ・リセール：「高校決選（前半・後半）」のチケットに限り、購入後に鑑賞を取りやめる事

情が生じた場合は、未発券のチケットに限り他の購入ご希望者へのリセールを行うことができます。リセールが可能な期限（公演前日の 23 時頃を予定）や条件の詳細は、後日、大会ホームページに掲載予定。

【鑑賞チケット 一覧】

	種別	チケットの内容	販売価格
8/5	学割	創作コンクール部門予選・高校① (No.1~20) ※	500 円
8/5	学割	創作コンクール部門予選・高校② (No.21~40) ※	500 円
8/5	学割	創作コンクール部門予選・高校③ (No.41~60) ※	500 円
8/5	学割	創作コンクール部門予選・高校④ (No.61~80) ※	500 円
8/5	学割	創作コンクール部門予選・大学	500 円
8/6	学割	創作コンクール部門決選・高校前半	1,000 円
8/6	学割	創作コンクール部門決選・高校後半	1,000 円
8/6	学割	創作コンクール部門決選・大学	1,000 円
8/7	学割	参加発表部門① (No.1~15) ※	500 円
8/7	学割	参加発表部門② (No.16~30) ※	500 円
8/7	学割	参加発表部門③ (No.31~45) ※	500 円
8/6~ 8/7	一般	寄付金付き決選・特プロ 1 回目セット券 (大会プログラム付き)	18,000 円
8/5	一般	創作コンクール部門予選・高校① (No.1~20) ※	1,000 円
8/5	一般	創作コンクール部門予選・高校② (No.21~40) ※	1,000 円
8/5	一般	創作コンクール部門予選・高校③ (No.41~60) ※	1,000 円
8/5	一般	創作コンクール部門予選・高校④ (No.61~80) ※	1,000 円
8/6	一般	創作コンクール部門予選・大学	1,000 円
8/6	一般	創作コンクール部門決選・高校前半	2,000 円
8/6	一般	創作コンクール部門決選・高校後半	2,000 円
8/6	一般	創作コンクール部門決選・大学	2,000 円
8/7	一般	参加発表部門① (No.1~15) ※	1,000 円
8/7	一般	参加発表部門② (No.16~30) ※	1,000 円
8/7	一般	参加発表部門③ (No.31~45) ※	1,000 円
8/7	一般	特別プログラム 1 回目 (S 席)	6,000 円
8/7	一般	特別プログラム 1 回目 (A 席)	5,000 円
8/7	一般	特別プログラム 1 回目 (B 席)	4,000 円
8/7	一般	特別プログラム 2 回目	4,000 円

※創作コンクール部門予選（高校）、参加発表部門については、参加校が決まり次第、出演校の割り当てを確定します。

【チケット販売についての注意事項】

※大会期間中の現地でのチケット販売は行いません。

※「高校決選（前半・後半）の返金（払い戻し）」は行いませんが、購入後に鑑賞を取りやめる事情が生じた場合は、未発券のチケットに限り他の購入ご希望者へのリセールを行うことができます。リセールが可能な期限（公演前日の23時頃を予定）や条件の詳細は、後日、大会ホームページに掲載予定です。

※先着販売の残り席数についてはお答えできませんので、大会事務局へのお問い合わせはご遠慮ください。

※今回大会より、高校創作コンクール部門予選及び参加発表部門については、より多くの方にご覧いただけるようにするため、部門の「通し券」を廃止し、部門を参加校数ごとに分けた「ブロック券」とさせていただきます。（併せて高校創作コンクール部門予選の一般鑑賞チケットの価格は1,500円→1,000円に改定いたします）

本大会では、引き続き皆様にご満足いただくために、サービス向上に努めてまいります。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

Ⅶ 諸連絡

1. 著作権に関する説明動画

音楽著作権の手続きがスムーズに行えるように、大会ホームページに動画を3月にアップします。是非参考にしてください。

2. 事前説明会（令和8年5月30日（土）オンライン）※任意参加

大会に先立ち、A・B用紙の記入方法等の説明会をオンラインで開催します。5月30日（土）を予定しています。時間等は後日連絡いたします。これは任意参加であり、出席しなくても大丈夫です。しかし、初出場の学校は参加することを強く勧めます。

3. 県代表の決定

県代表が決定したら、速やかに大会事務局までご報告ください（締め切り6月16日（火））。自校としてもエントリーしている場合、自校の予選番号が県代表校の番号になります。

4. 顧問会議について（令和8年7月31日（金）オンライン）※必須参加

顧問会議は必ずどなたかが参加してください。

【資料】

第38回 全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)

38th All Japan Dance Festival-Kobe



創作コンクール部門・参加発表部門

B用紙 記入上の注意事項

B用紙記入例

B 用紙記入上の注意事項

- ※ B 用紙の提出方法は、要項 p.12 (4) ④ A・B 用紙 (15 部) を参照すること。
- ※ ダウンロードした B 用紙に手書きまたは入力が必要事項を記入する。
- ※ 「B 用紙記入例 (参考)」及び「舞台参考資料」を参照し、内容は必ず 1 枚にまとめること。表面に別の紙面を継ぎ足して利用する等は不可とする。
- ※ 「照明家の資料」になるので、内容は全て表面に明記すること。
- ※ 判読できない小さな字、薄い字、鉛筆書きを避けること。
- ※ 不備がある場合は取り扱わないので注意すること。すべて正確に記入、漏れなく明記すること。
- ※ B 用紙は B4 サイズに拡大コピー (白黒可) し、そのうち原本となる (衣装に着色をしたもの) 1 部を一番上にして、計 15 部をまとめて、2 つ折 (記入面を表側) にして A 用紙等と共に郵送する。

1. 記入項目イ. ～ への記入方法

作品の進行に合わせて、時間経過・音・主な動きの構成・照明の関係をわかりやすく記入する。

イ. 作品の進行時間

作品全体の進行時間を記入すること。

出演者の出入りの時間は含めない。

上演の際のタイムオーバーは違反となるので、この欄に記入する「作品自体の進行に必要な時間」と「出演者の出入りに必要な時間」を合わせて各部門の作品に関わる制限時間 (要項 p.8) を守っているかをよく確認した上で記入すること。

ロ. CD の進行時間

CD を流し始めてからの時間を記入すること。

ハ. 音量の起伏

CD に録音された伴奏音楽が聞こえてくる起伏を記入すること。

大会当日に音響家による音量操作はいつさい行わない。

ニ. 音・照明・動きの関係

▶特に作品の始まり方と終わり方の様子を具体的かつ明確に記入する (タイムをしっかりと記入)。

始まり方の記入例

- ①「板付き→音・照明 C.I→動き始める」
- ②「板付き→動き＝照明 (無音 10 秒) →音 C.I」
- ③「板付き→雑踏の効果音 C.I から 5 秒かけて照明 F.I→人が動いているのが見える」

終わり方の記入例

- ④「△分△△秒から△秒かけて照明 F.O→暗転後はける」
- ⑤「音が切れて (△分△△秒)、◎の人が振り向いたら (△分○△秒) 照明 F.O」
- ⑥「◎印の人が下手奥から走りセンターで倒れる (△分△△秒) → (7 秒後の△分○△秒) 音・照明 F.O」
- ⑦「音が切れて (△分△△秒) → (5 秒後の△分○△秒) 照明 C.O→暗転後、ダンサーがはける」

ホ. 照明希望案

- 照明の複雑な転換や場所の指定は不可能なので、アイデアを生かしつつも、極力シンプルな案にすること。各シーンには、イメージを記入しておくことが望ましい。なお、実際の判断は照明家が行うので予め了承のこと。
- 照明の転換数が多くなると、大会全体の運営時間に影響するため、ご配慮ください。
- ※照明転換の時間は、CDの進行時間を記入する。
- 具体的な照明案の希望がない場合は、テクニカルスタッフに一任する形となる。

へ. 構成図

- 各シーンにダンサーがどのように位置しているのかを記入すること。

2. 記入項目①～⑫の記入方法

- ①該当箇所を○で囲み、B用紙提出時の最新の上演順を大会ホームページで参照して記入すること。
- ②学校名グループ名をもれなく記入すること。
- ③プログラム原稿・A用紙とまったく同じ作品タイトルを記入すること。
- ④上演前後の舞台への出入りを含めないで作品にかかる正味の所要時間を記入すること。
ただし、動きが終わっても照明が残っている場合のように、照明の転換に時間を要する場合（照明のF.O開始～暗転までの時間など）は含めること。
- ⑤プログラム原稿（A用紙）の人数と相違がない出演者数を記入すること。
- ⑥きっかけ出しを行う人（要項 p. 14 で「きっかけ出し係」の条件を規定）の名前を記入し、該当種別を○で囲むこと。きっかけ出し係の変更は作品の安全管理上、極力しないこと。
- ⑦作品開始時の配置場所ごとの出演者の人数を記入すること。（上手の人数＝作品アナウンス前に上手に移動する人数を記入すること）。
- ⑧舞台の背景を黒幕か Horizont 幕から選択して○で囲むこと。
- ⑨照明の参考となる作品イメージの解説、希望する全体的な照明イメージについて記入すること。
- ⑩衣装・靴・帽子・アクセサリなどについて明示すること（要着色。素材や色の名称も記入。）。
- ⑪使用する小道具について、その大きさ、数量、材質、使用方法を明記すること。道具1つあたりの大きさに規定があるため、参加要項を確認すること。また、帽子や靴などの衣装も作品途中で、身体から離れる場合は小道具の扱いとなるので、要項 p. 15～p. 17 を確認すること。
雑巾等を袖幕に持ち込む場合は、「⑪小道具」欄に記入すること。
- ⑫大会期間前にも必ず連絡がつく指導者または引率責任者の氏名および電話番号を記入する。また、大会期間中の緊急連絡にも対応できる携帯電話の番号とメールアドレスを必ず明記すること。

＜提出後は照明案の変更ができません。また、小道具は個数を増やしたり、追加したり、提出書類と違う素材に変更することはできません＞

イ.作品の進行時間	ロ.CDの進行時間	ハ.音量の起伏	ニ.音・照明・動きの関係	ホ.照明希望案	ヘ.構成図
0'00"	0	s	暗転板付き(道具も)		(下手) (上手)
0'03"			→①動きニ照明F.I 無音でダンサーが動いている。	きつかけ出し後、3秒かけて舞台中央の箱と動いている人がうっすらと見えるような照明をF.I。(無音で動いています。)	
0'10"	0'00"	C.I	→②音(M1)C.I 日常的な食事の風景	0'00"に音が入ると同時に照明を強く。色は白	(容席)
1'17"	1'07"		舞台中央の箱が広がり、ダンサーが踊る。 厳しい現代社会のイメージ	1'07"から5秒かけて舞台両側から強いSSをF.I。ダンサーと箱がはっきり見えるように。色は強烈な白	(下手) (上手)
2'10"	2'00"	F.O	舞台下手前でダンサーが踊る。	2'00"から5秒かけて下手前の箱と人を目立たせるような照明をF.I。色は強烈な白	(下手) (上手)
2'13"	2'03"		無音		
2'15"	2'05"	C.I	効果音 工場のような無機質なイメージ		(容席)
2'40"	2'30"	C.O	無音		
3'01"	2'51"		舞台下手に箱と人が集まる。 必死で食べ物を買う様子のイメージ	2'51"から3秒かけて照明を下手全体に広げる。	(下手) (上手)
3'26"	3'16"		舞台下手でダンサーが踊る。 生存競争の中で這い上がるイメージ	3'16"から5秒かけて照明を舞台上手前以外に広げる。	(下手) (上手)
4'04"	3'54"		舞台全体にダンサーが広がる。	3'54"から10秒かけて照明を舞台全体に広げ、ロアホリゾントの白をF.I。舞台が白くまばらに照らされるような照明。	(下手) (上手)
4'23"	4'13"		舞台全体にダンサーが踊る。 葛藤しつつも強い意志が芽生えてくるイメージ	4'13"から8秒かけてホリゾントの照明を無くし、舞台両側から強いSSをF.I。ダンサーの体がはっきりと浮かび上がるように舞台天井からも照らす。色は強烈な白	(下手) (上手)
5'18"	5'08"		舞台全体にダンサーが広がる。 日常生活に戻るイメージ	5'08"から8秒かけて舞台中央を目立たせたうえで、全体に点状のダンサーがぼんやり見えるような照明をF.I。	(下手) (上手)
5'38"	5'28"	F.O	→①音(M2)F.O		(容席)
5'39"	5'29"		→②照明F.O	5'29"照明F.O	
5'42"	5'32"		→③暗転後はける。		

① 高校 大学 創作コンクール
参加発表
上演順 99番
学校名グループ名
全日本大学 コンテンポラリーダンス部
最新の上演順を忘れずに
プログラムビ 題名
食卓より
グループ名を忘れずに
上演前後の出入りを含めない作品時間
5分42秒
人数
女 22人 男 4人 計 26人
きつかけ出しを行う人の氏名 * 指導者 * 学 * 出演者
神戸踊子
作品の最初の出演者の配置
板付き 2人
上手 9人
下手 15人
* 作品アナウンス前に上手に移動する人数は、上手に記入してください。
舞台背景
黒幕 ホリゾント
作品のイメージ
食卓という日常的な空間から現代社会の不条理さが浮かび上がってくるイメージ。全体的に無機質な照明でお願いします。

⑩ 衣装・シューズ * 身体から離して扱うものは⑩にも記載
ワンピース 裸足

右手にスカーフ(ずっと付けたままです。途中で外して道具にすることはありません。)

⑪ 小道具 (大きさ・数量・材質・使用場面・方法など詳しく記入)
* 種類別に番号をつけること。
① 箱(アクリル製) 黒色
用途: 乗る、持ち上げる
個数: 7個 (45cm×40cm×40cm)

② 雑巾(下に敷(ビニール含む) 6枚 23cm×45cm
用途: 滑り止めとして舞台袖に置く

高校の場合は指導者の名前と連絡先を記入
(生徒の名前は避ける)

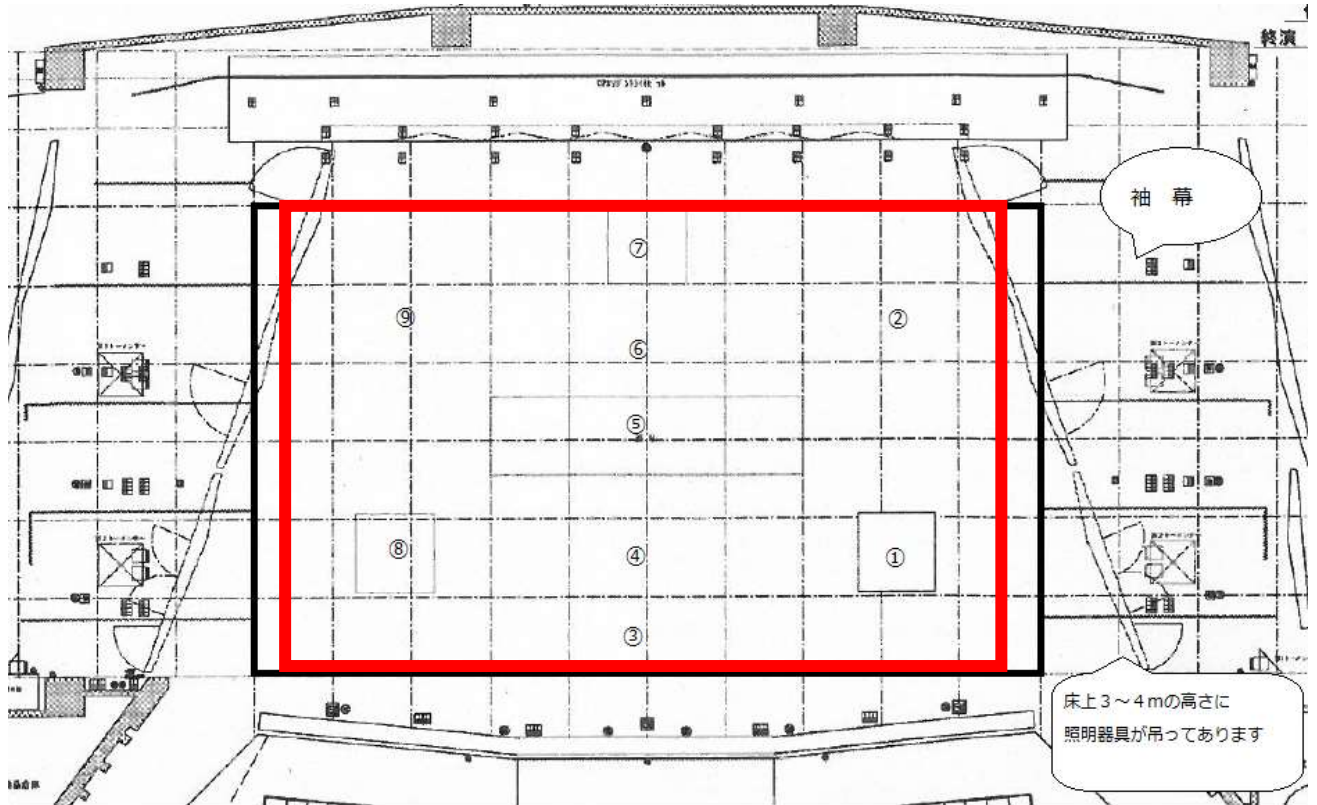
※間こえてくる伴奏音楽の起伏を記入例を参照して記入してください

緊急連絡先(大会期間中に連絡がつく指導者または引率責任者の番号を必ず記入)	
⑫ 連絡責任者氏名	TEL: (000)111-2222 携帯: (090)3456-7890
佐藤 花子	e-mail: abc 5678@○●▲◎★☆ne.jp

記入を忘れずに

舞台参考資料（大ホール舞台平面図）

※中ホールも同じサイズ



I 上図は「大ホール」の平面図である。

上演スペースは上図の赤色太線で囲まれた範囲 間口9間(約16.4m)奥行6間(約11m)となる。

図中の細かい線の枠は、1マスが1間×1間(1.8m×1.8m)である。

※詳細は要項を参照のこと。

II 袖幕(舞台の左右にある黒い幕)は幅が広い(約6mある)のでダンサーの出入りには時間がかかることを考慮すること。

III 円形サスペンションスポット(エリアを限定する上からの強いスポットライト)は、上図の①～⑨の位置に用意してあるので、必要に応じてB用紙に番号で記入すること。

なお、このスポットの直径は、4m弱(10人から15人集まることが可能)である。

IV 円形サスペンションスポットについて、①～⑨の位置以外の場所、方向、または大きさの小さいものを希望する場合は、①～⑨の位置を基準にして図示すること。但しこの場合、必ずしもその通りにいかない場合がある。

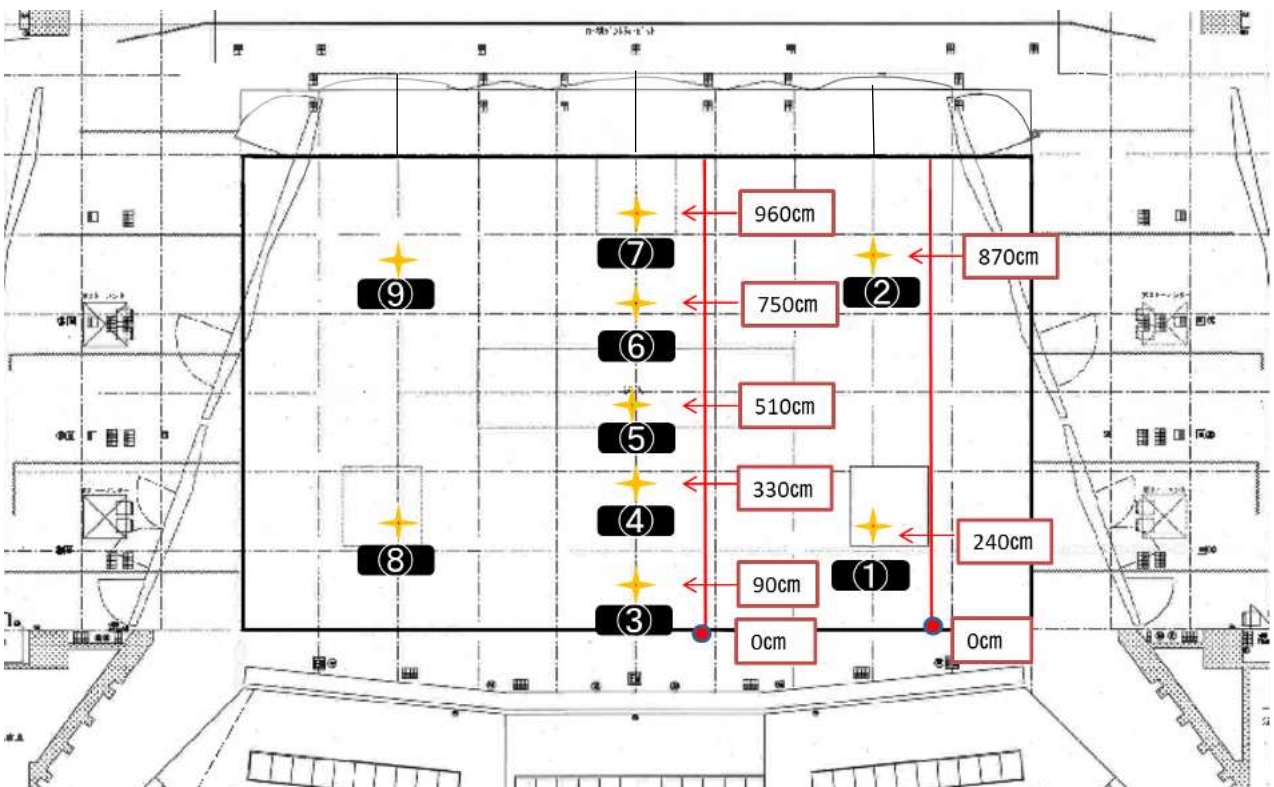
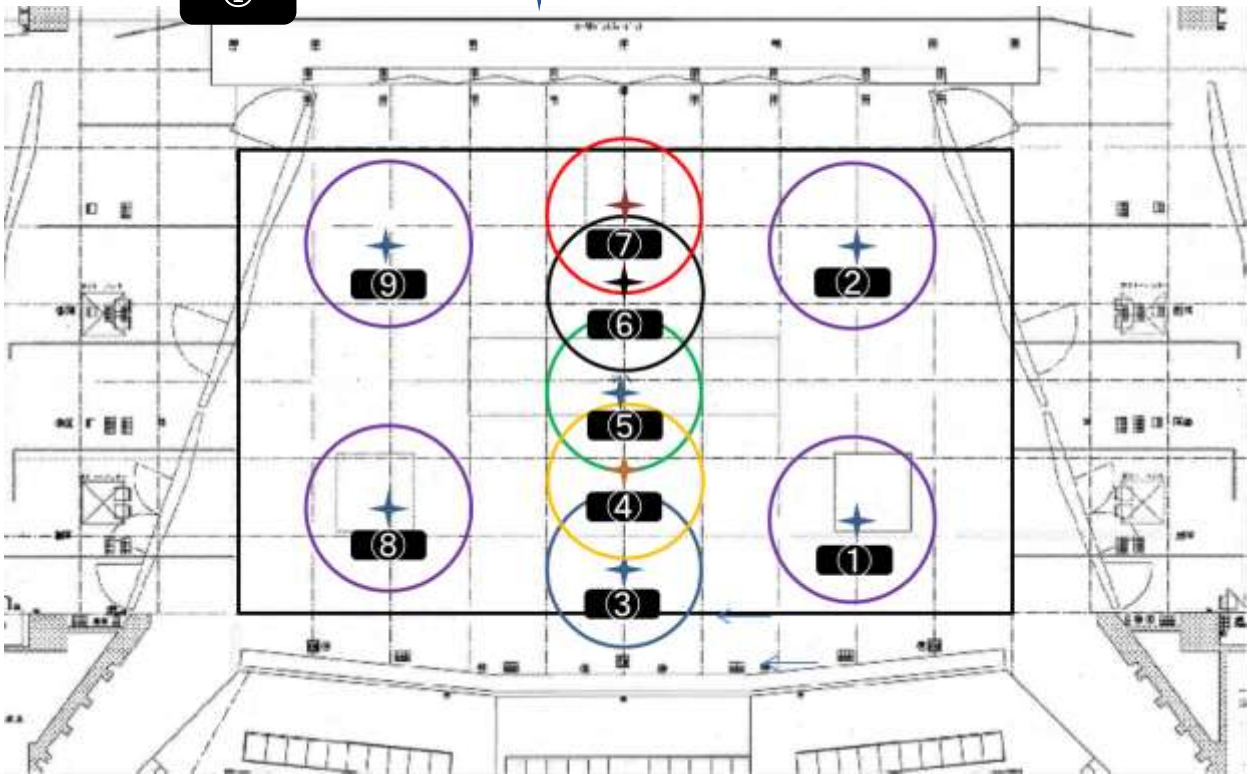
V B用紙の「ホ.照明希望案」を記入する際には、単に赤や青と指定する以外に、「このようなイメージ」など、イメージを主体に記入すると照明デザインのために有効な助けとなる。

舞台照明サスペンションスポット参考資料 (大ホール舞台平面図)

※中ホールも同じサイズ

次の図は、サスペンションスポットの位置を示したものである。各校で実寸大の場所にて練習することを勧める。

① : サス番号 ✦ : サスの中心



よくある間違いの事例

－場合によっては参加不可になることもあります。必ずチェックしてください－

	よくある事例	対処法
申込	参加申込締切に間に合わない	受付確認メールが届かない場合は連絡をしてください。 締切直前ではなく余裕を持って。
	入金なし・振込金額の間違い	
	登録人数の間違い	
	Web 登録に間に合わない	事前にパソコンやネット環境のチェックを。
	消印なし・後払い郵送	消印が確認できる方法で。
	簡易書留郵送	人がいなくても受け取れる方法で。
A 用紙	A-1・A-2 データなしで、プログラム原稿をアップロード	必ず添付送信してください。
	A-1・A-2 を両面印刷してしまう	別々にそれぞれ、片面印刷をしてください。
	団体名なし・グループ名なし	正式な団体名を記入し、グループ名（例：ダンス部）を忘れないで。
	送付数の間違い	
	PDF で送付	データ処理が出来なくなります。書式は変えずに提出してください。
	データシートの変更	
	参加者の氏名を間違えて記入	
B 用紙	上下（舞台の方向）を逆さまに記入	必ず確かめてください。
	上手と下手の人数の間違い	
	無音を CD 進行時間に入れて記載	作品の始まりが無音の場合、CD 進行時間に無音部分は入れないでください。
	小道具の記載忘れ（数・大きさ）	ぞうきん・下に敷くビニールも含めて、すべてを記入してください。
	小道具のサイズが実際の方が大きい	最大のサイズを記入してください。
	衣装の記載なし	全ての衣装を記入してください。
	衣装が小道具になる場合や、50cm×50cm×50cm の大きさ以上の小道具の収納方法の記載がない	上演に使用する道具の大きさ、小道具を既定の大きさにどのように納めるか記載してください。
	B 用紙を A3 用紙に印刷する	B4 用紙に印刷してください。
A 用紙と B 用紙の内容が違う（学校名・グループ名・人数）	必ず確かめてください。	
A 用紙と Web 送信の内容が違う（学校名・40 字・人数）		
AB 用紙に誤字脱字がある		
AB 用紙を 1 枚ずつ交互に折りたたむ	用紙の種類ごとに 15 枚ずつまとめてください。	
AB 用紙の枚数が 1 枚少ない（または多い）	15 枚あるか、確認してください。	
音源	MP3 で提出	オーディオ CD 形式に。
	1 トラックになっていない	CD1 枚につき、1 トラック。1 枚入りと 2 枚入りに分けて梱包してください。
	3 枚バラバラ・不織布ケースに記載なし	

顧問会議	欠席	必ず、代理を立ててください。
上演打合	遅刻・欠席	特に決選前は忘れないように。
多種の受付	「参加校受付」「登録受付」「上演打合」の違いを理解しておらず、欠席してしまう	名称が似ているので、確認してください。
権利処理	・著作権を確認していない	著作権等を確認しているか不明であると、上演が出来なくなります。分からない時は早めに東京分室に相談してください。
	・著作権を確認しているが記入もれ	
	・権利者に直接許諾をとっているが、書類を提出していない。	
	・各記入漏れ…利用方法、作品コード、隣接権、レコード会社、商品番号、作曲家、作詞家等	

違反の例

ー以下の場合には減点、失格、審査対象外などになりますー

○上演の妨げとなる行為や虚偽の申告があった場合

- ・ 紗幕や照明機材の破損
- ・ 上演時間のオーバー（アナウンス終了後から全員が舞台からはけるまで、小道具を規程の大きさに戻すまでを計時します）
- ・ リノリウムおよびリノリウムテープへの傷や汚れ、リノリウムテープの張替
- ・ 舞台上や袖幕内に残された小道具・衣装の一部・装飾品などを上演スタッフが処理した場合
- ・ B用紙に記載されていない小道具の持ち込みやサイズの変更

○使用が許可されていないエリア（黒エリア）に人や小道具が進入した場合

- ・ 客席・ホリゾン・0幕目（最前列）、特に紗幕やホリゾン前は危険

○スタンバイや退場の仕方を間違えた場合

- ・ 板付きや小道具の準備（小道具の組み立てやサイズを大きくする）は、アナウンス終了後
- ・ 舞台上の小道具は元のサイズ（50×50×50）に戻してから退場

○きっかけ出し係が上演中に出演者に関与した場合

- ・ 袖幕内での出演者の受け止めや誘導、着替えや小道具の援助

○定められた場に無断で欠席した場合

- ・ 「顧問会議」「登録受付」「参加校受付」「上演打合」「照明下見」「場当たり」は必ず参加やむを得ない事情により参加できない場合は、事前に相談してください。

○著作権の不備があった場合

- ・ 許諾が取れていない楽曲は使用できません。

37th 大会提出物不備と違反の事例

提出物不備

参加合計人数が未記入 合計人数が合わない
緊急連絡先欄に、メールアドレスが入力されている
電話番号欄や FAX 欄に、郵便番号が入力されている
コンクール部門選択だが、参加発表部門にも人数が入っている
前年度の大会口座に誤って入金
入金が遅れた
A 用紙出演者 0 人、両部門出演者に人数記入
AB 用紙の作品タイトルに齟齬あり、きっかけ出し入力忘れ
B 用紙 A3 印刷
B 用紙 2 枚（道具の説明用紙を追加）
プログラム原稿の入力ミス（出演者の名前、人数、きっかけ出し、予選 No、メールアドレス）
体育館入場証数の誤入力
辞退届の宛先を誤って東京分室に送付
CD 作成ミスで締め切り後に再送
CD タイムオーバーで再送
音源の許諾が取れていなかった
指導者（非常勤）に郵便物が届いていなかった 2 つ目の住所は宛先不明で戻ってきた

※ 締め切り前に Web 送信を 2 回送った場合は、最新のものが採用されます。

違反

小道具のサイズを大きくしたまま、はけた（50cm オーバー）
アナウンス前に上手袖と下手袖に設置した
タイムオーバー
アナウンス前に板付きをしてしまった
指定している演舞スペース以外（黒エリア）に侵入した
指導者が小道具を置く位置について声かけをした
下手はけのまま終了した→タイムオーバー
小道具の大きさが B 用紙記載のサイズより大きく（長く）なっていた
上演打ち合わせに来なかった
上演打ち合わせ後に小道具を減らしたいと申し出があった
参加校受付に来なかった
顧問会議を無断欠席した

全体のスケジュール

日程	内容
3月初旬	第38回大会公式ホームページ（大会開催要項）開始
3月中	大会説明・著作権説明動画大会ホームページアップ
4/1（水）～4/17（金）	参加申込み期間
5月30日（土）	事前説明会（オンライン・任意参加）
6/1（月）～6/16（火）	A・B用紙提出期間
4/1（水）～7/31（金）	フォトスタジオ八木申込期間
6/26（金）～7/8（水）	参加料振込期間
7月8日（水）	広告費振込最終日
7月31日（金）	顧問会議（オンライン・全校必ず出席）
8月4日（火）～7日（金）	38 th AJDFKobe
8月4日（火）	『女子体育』予約開始
8月7日（金）	大会アンケート送信
8月下旬	NHK Eテレ放映（予定）
11月下旬	『女子体育』発刊